

提出議題

議決事項

第一号議案	令和5年度	決算報告（案）及び監査報告	別冊
第二号議案	令和6年度	改選役員及び推薦委員の選出	10
第三号議案	令和7年度	日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出	11

報告事項

報告事項1	令和5年度	事業報告	12
報告事項2	令和6年度	事業計画	74
報告事項3	令和6年度	収支予算書	別冊

第一号議案 令和5年度 決算報告（案）及び監査報告

（別 冊）

第二号議案 令和6年度 改選役員及び推薦委員の選出

役員・推薦委員の任期満了に伴い、定款及び細則に基づき、役員・推薦委員の選出を求める。

○令和6年度 役員候補者

役 職	氏 名	任 期	所 属	職 種
会 長	西 生 敏 代	2	山口県看護協会	保健師
第一副会長	折 込 沙 世	2	小郡第一総合病院	看護師
第三副会長	吉 岡 和 代	2	山口赤十字病院	助産師
専務理事	菊 池 実 代	1	山口県看護協会	保健師
理 事	塩 道 敦 子	2	山口大学医学部附属病院	助産師
理 事	中 村 麻 衣	2	萩市民病院	看護師
理 事	伊 藤 友里代	2	光市立大和総合病院	看護師
理 事	山 本 知 美	2	山口県立総合医療センター	看護師
理 事	小 迫 幸 恵	2	山口県立大学看護栄養学部看護学科	看護師
理 事	宇多村 順 子	2	尾中病院	看護師
理 事	井 上 孝 子	2	美祢市立美東病院	看護師
理 事	松 谷 真由美	2	玉木病院	看護師
理 事	関 野 尚 子	2	済生会下関総合病院	看護師
監 事	軍 神 弘 美	2	安岡病院	助産師
監 事	天 河 浩 二	4	中国税理士会防府支部	税理士

○令和6年度 推薦委員候補者

委員名	氏 名	任 期	所 属	職 種
推薦委員	藤 重 久美子	1	周南健康福祉センター	保健師
	村 谷 香 織	1	上関町保健福祉課	保健師
	吉 本 美 恵	1	YIC 看護福祉専門学校	助産師
	田 村 知 美	1	山口県済生会豊浦病院	助産師
	徳 永 洋 子	1	小郡第一総合病院	看護師
	山 本 純 子	1	光市立光総合病院	看護師
	久保江 律 子	1	長門総合病院	看護師

第三号議案 令和7年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出

日本看護協会定款並びに定款細則では、都道府県看護協会に委託して代議員及び予備代議員の選出をすることとなっている。

山口県看護協会の定数は各10人であるので、代議員10人と予備代議員10人の選出について提案する。

なお、予備代議員は、代議員が欠けた場合、代議員の員数を欠くことになる場合、これに充てることとし、代議員は、令和7年度日本看護協会総会で議決権を行使する。

○令和7年度 日本看護協会代議員候補者

No.	氏名	職種	所属
1	菊池実代	保健師	山口県看護協会
2	吉岡和代	助産師	山口赤十字病院
3	鈴川実紀	准看護師	安岡病院
4	伊藤友里代	看護師	光市立大和総合病院
5	山本知美	看護師	山口県立総合医療センター
6	小迫幸恵	看護師	山口県立大学
7	宇多村順子	看護師	尾中病院
8	井上孝子	看護師	美祢市立美東病院
9	松谷真由美	看護師	玉木病院
10	関野尚子	看護師	済生会下関総合病院

○令和7年度 日本看護協会予備代議員候補者

No.	氏名	職種	所属
1	折込沙世	看護師	小郡第一総合病院
2	渡邊洋子	保健師	山口県看護協会
3	小阪マリ子	看護師	徳山中央病院
4	塩道敦子	助産師	山口大学医学部附属病院
5	露繁巧江	看護師	萩慈生病院
6	杉谷安紀枝	准看護師	セントヒル病院
7	浜佳恵	看護師	岩国市医療センター医師会病院
8	田山千里	看護師	周東総合病院
9	原田美佐	看護師	山口大学医学部附属病院
10	軍神弘美	助産師	安岡病院

報告事項 1 令和5年度 事業報告

○令和5年度重点方針5項目の概要

I 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

子ども・子育て世代、障がい者、高齢者など全世代を対象として、地域における看護力の強化と連携に取り組むこととしている。

在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業では、全医療圏域、全支部で取り組みを進めることができ、圏域ごとの課題に即した検討会や研修会を開催した。多職種での研修会や事例検討会、各領域の看護管理者の検討会、訪問看護ステーション等の見学実習など、活動内容も広がりを見せ、看看連携、多職種連携がさらに深められた。

在宅ケア推進委員会では、在宅ケアに関する課題としてあがった退院時等の情報提供の在り方について深めるため、「在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業」を行っている支部長との意見交換を実施し、今後の方向性を定め課題に取り組むこととした。

II 看護職の就業と定着の促進

本県では、地域や就業場所による看護職の偏在が顕著であり、小規模病院・介護施設・訪問看護ステーションの看護師確保が課題となっている。

令和5年度は、看護職員の離職防止や潜在看護職の就業支援に重点的に取り組んだ。ナースのお悩み相談室を開設し、周知にも努めたことで個人・施設から多くの相談が寄せられた。また、ハローワークとの連携を進めて、ハローワーク出張相談を7か所から10か所に増やし、相談件数も伸びた。また、看護職再就業支援相談会についても年々相談者が増え、多くの潜在看護職を就業に繋げることができた。

III 看護の質の向上とキャリア形成の促進

重点事業として、看護の専門性を十分に発揮し安定的で質を確保した看護の提供のため、「認定看護師活躍推進事業」に取り組んだ。認定看護師等の質の向上と専門性を活かして地域で活躍できる場を広げ、地域のニーズとのマッチングなど、地域の健康づくりに資するシステムを構築する事業であるが、令和5年度は認定看護師等が活動を展開するうえでの課題の抽出等を行い、当事者及び看護管理者の交流学习会を開催し、現状及び課題の共有を図った。

また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、一般教育研修については、受講者数が1,000人近く増加した。研修形態も対面、オンライン研修、ハイブリッド研修など柔軟に取り入れ、受講しやすく満足度の高い研修を行うことができた。看護研究学会では、特別講演のオンデマンド配信も行った。

IV 組織力の強化

組織力強化の広報活動として、入会促進に向け、看護師等学校養成所への訪問を重点的に実施した。入会案内とともに、看護の日キャラクター「かんごちゃん」グッズを作成し、卒業記念品として贈呈した。また、非会員施設への訪問等も行い、会員の確保に努めた。

さらに定期的に入会促進活動についての協議の場を設け、職員一人一人が会員の確保への意識を高めることができた。

会員にとって有益で利便性が高く事務効率も図ることができる方策として、研修管理システム「マナブル」の導入・運用を進め、体制を整えた。また、会員にいち早く情報発信を行うため、SNS（LINE）を開始した。

V 地域における健康危機管理体制の強化

令和6年4月の感染症法及び医療法の改正に伴い、災害・感染症発生時に都道府県知事の求めに応じて派遣される医療チームの仕組みが法定化され、災害支援ナースは「災害・感染症医療業務従事者」として位置付けられることとなった。この新たな仕組みによる応援派遣体制を構築するため、令和5年度から自然災害と新興感染症に対応できる看護職の養成を開始した。また、災害受援マニュアルや看護実践マニュアル（感染編を追加）を改正し、応援派遣調整等の体制整備を進めた。

また、令和6年1月に発生した能登半島地震においては、被災地へ災害支援ナースの派遣を行った。1月18日から2月5日まで、24人を派遣し、石川県内の1.5次避難所で支援活動を展開した。

事業報告は、定款第4条の8つの事業に沿って掲載

- 1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
- 2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- 3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
- 4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- 5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
- 6 施設の貸与に関する事業
- 7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業
- 8 その他本会の目標を達成するために必要な事業

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項 (1)一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会 31コマ32日 受講者数 2,670人
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 19日間(R5.10.20～R5.12.16) 修了者75人 ②認定看護管理者教育課程サードレベル 180時間 32日間(R5.4.20～R5.9.9) 修了者15人 ③フォローアップ研修 ファーストレベル R5.7.6 参加者 42人 サードレベル R6.3.9 参加者 15人
(3)新人看護職員研修事業 (山口県委託)	①検討会 2回 第1回R5.5.17 出席者 12人 第2回R5.12.6 出席者 11人 ②研修責任者研修 4日(R5.9.2、9.15、9.28、9.29) ③教育担当者研修 6日(R5.8.17、8.22、9.2、9.22、10.4、10.5) ④実地指導者研修 5日(R5.7.26、8.8、8.10、8.30、9.16)
(4)助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 (山口県委託)	①新人助産師研修 新人13人、6日間(R5.7.29、8.19、9.30、11.11、R6.1.13、2.17) 実施 公開講座として5講座実施 うちCLOCMiPレベルⅢ認証研修は4講座 受講者数 R5.7.29 24人 8.19 9人 9.30 8人 11.11 14人 R6.1.13 9人 ②助産実践能力向上研修 3日間で4講座開催 4講座ともCLOCMiPレベルⅢ認証研修とする 1回目 R5.10.28 17人 2回目 R5.10.28 17人 3回目 R5.11.25 23人 4回目 R6.1.27 18人
(5)実習指導強化推進事業 (山口県委託)	①検討会 2回 第1回R5.5.25 出席者 15人 第2回R5.12.7 出席者 11人 ②実習指導者養成講習会

事業項目	主な事業内容
	32日間(R5.8.3～R5.10.13) 受講者数 38人 ③実習指導者と看護教員の相互研修 相互研修Ⅰ 1日目(R5.8.24) 受講者数 33人 相互研修Ⅰ 2日目(R5.8.25) 受講者数 32人 相互研修Ⅱ 1日間(R5.9.30) 受講者数 23人 ④実習指導アドバイザー派遣 2回(R5.9.15、R5.11.10)
(6)看護職員認知症対応力向上研修(山口県委託)	①検討会・打合せ会 5回 ②看護職員認知症対応力向上研修 前期：R5.7.15、7.21、8.4 修了者53人 後期：R5.11.18、11.24、12.1 修了者50人
(7)JNA収録DVD研修(日本看護協会委託)	①認知症高齢者の看護実践に必要な知識 1回目 R5.6.9、6.10 修了者59人 2回目 R5.6.30、7.1 修了者60人 3回目 R5.9.8、9.9 修了者44人 4回目 R5.9.21、9.22 修了者46人
(8)その他研修	①看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2回 1回目 R5.7.13 修了者81人 2回目 R5.9.27 修了者62人 ②外来における在宅療養支援能力向上のための研修 1回 R6.1.20 修了者48人
(9)委員会	①教育委員会 9回 R5.5.24、7.26、8.23、9.27、10.25、11.29、12.14、R6.1.24、3.13 ②認定看護管理者教育運営委員会 4回 R5.6.15、R5.8.8、R5.10.12、R6.2.8
(10)日本看護協会との連携	①全国看護基礎教育担当役員会議 R5.12.20
2)医療安全推進事業 (1)医療安全管理者の資質向上の推進	①医療安全管理者養成研修 日本看護協会インターネット配信研修35時間 都道府県看護協会 集合研修5時間 R5.11.17開催 修了者41人 ②医療安全管理者スキルアップ研修 1回 R6.1.24開催 参加者36人
(2)医療安全推進事業	①医療看護安全啓発 医療安全情報きらめき掲載 157号(10月)、158号(1月)掲載 医療事故調査制度等施設、管理者への情報提供 2回実施 「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の啓発・普及 活用促進 見直しを実施 ホームページに掲載
(3)医療安全管理体制の構築・充実	①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 圏域代表との意見、情報交換 1回(R5.10.11) 医療安全管理者交流会の開催 1回目R5.6.29 参加者34人 2回目R5.12.21 参加者25人

事業項目	主な事業内容
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	①看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習を伴う講習会受講者への加入促進 ②看護職賠償責任保険制度サービス推進室の利用促進
(5)委員会	①医療安全推進委員会 7回開催 第1回R5.4.26 第2回R5.6.2 第3回R5.7.7 第4回R5.8.18 第5回R5.10.11 第6回R5.12.21 第7回R6.2.2 内、1回は圏域代表を招聘しての会議(第5回R5.10.11)
(6)日本看護協会との連携	①医療事故調査制度に関する情報交換会 R5.11.15 2人参加 (オンライン)
3)学会等学術集会に関する事業 (1)山口県看護研究学会開催	①第23回山口県看護研究学会 R6.3.2 テーマ「看護の原点をみつめ未来につなぐ」 口演発表 7題 示説発表 3題 一般参加者76人 学生参加111人 オンデマンド参加者 7人
(2)委員会	①学会委員会 第1回 R5.4.15 第2回 R5.7.29 第3回 R5.10.27 第4回 R5.12.5 第5回 R6.1.4 第6回 R6.2.16
(3)日本看護協会との連携	①日本看護学会運営会議 開催なし
4)図書室運営に関する事業 (1)図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 雑誌・書籍等受入 定期購読雑誌・学会誌(18タイトル)：181冊 書籍：68冊 冊子：39冊 ビデオ・DVD：0本 ②図書貸出 書籍・ビデオ・DVD貸出：268件 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌) 山口県看護研究学会論文集・集録・抄録集の文献複写依頼：1件 医学中央雑誌へ文献複写依頼：10件 本協会図書室所蔵の文献複写依頼：0件 ④図書室利用者：229人 岩国：10人 柳井：2人 周南：70人 防府：31人 山口：44人 宇部：22人 小野田：10人 長門：3人 萩：1人 下関：24人 会員外(非会員・学生)：12人
(2)日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入 雑誌：15冊 ②最新看護索引Web機関版の利用

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容																								
1) ナースセンター事業 (1) ナースセンター運営協議会 (山口県委託)	ナースセンター運営協議会 R6.2.7 出席者15人 協議内容 ・R5年度ナースセンター事業報告 ・ナースセンター事業における課題 ・次年度事業計画																								
(2) 無料職業紹介 (山口県委託)	① 第6次NCCS (ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用 ・求人・求職相談件数R5.4～R6.3 <table border="1"> <tr> <th>求人</th> <th>求職者</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1,037</td> <td>1,408</td> <td>2,445</td> </tr> </table> ・求人・求職・就職者数 R5.4～R6.3 <table border="1"> <tr> <th>求人</th> <th>求職者</th> <th>就職者</th> <th>就職率</th> <th>求人倍率</th> </tr> <tr> <td>5,224</td> <td>913</td> <td>70</td> <td>7.7%</td> <td>5.72%</td> </tr> </table> ② ナースセンター・ハローワーク連携事業 ・連携事業連絡調整会議 第1回 R5.6.26 出席者11人 第2回 R6.2.7 出席者11人 ③ その他 ・事業の広報 ナースセンターだよりの発行、県ホームページ、本協会ホームページ、市町広報、メディア等	求人	求職者	合計	1,037	1,408	2,445	求人	求職者	就職者	就職率	求人倍率	5,224	913	70	7.7%	5.72%								
求人	求職者	合計																							
1,037	1,408	2,445																							
求人	求職者	就職者	就職率	求人倍率																					
5,224	913	70	7.7%	5.72%																					
(3) 再チャレンジ研修 (山口県委託)	① 再チャレンジ研修受講者件数 13件 ② 未就業看護職者研修(集合研修) 1回目 R5.8.22 参加者3人 2回目 R5.9.14 参加者4人 3回目 R5.9.15 参加者3人 4回目 R5.12.20 参加者0人 ③ 調整会議 1回 R6.1.25 出席者25人 ④ 広報 ・チラシ5,000枚配布																								
(4) 再就業コーディネーターの配置(山口県委託)	① 再就業コーディネーターによるハローワークでの出張相談、就業支援 ・岩国、柳井、下松、徳山、山口、防府、宇部、萩、長門、下関10ヶ所のハローワークで実施 ・5月より各会場で原則月1回(柳井・下松・長門は隔月)実施 相談件数119件 実人数99人 地域別相談件数 (件) <table border="1"> <tr> <th>地域</th> <th>岩国</th> <th>柳井</th> <th>下松</th> <th>徳山</th> <th>防府</th> <th>山口</th> <th>宇部</th> <th>長門</th> <th>萩</th> <th>下関</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>相談</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>19</td> <td>4</td> <td>31</td> <td>23</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>119</td> </tr> </table> ② 再チャレンジ研修希望者に対する研修調整 ③ 再就業にあたり必要な専門相談の実施 ④ 臨床心理士 第4火曜日1回/月 R5.5月～R6.3月 延べ10件 ⑤ 調整会議 3回開催 R5.4.25、R5.10.19(就業支援サポーターと合同)、R6.3.14	地域	岩国	柳井	下松	徳山	防府	山口	宇部	長門	萩	下関	合計	相談	7	3	3	19	4	31	23	2	11	16	119
地域	岩国	柳井	下松	徳山	防府	山口	宇部	長門	萩	下関	合計														
相談	7	3	3	19	4	31	23	2	11	16	119														

事業項目	主な事業内容																														
(5)就業支援サポーターの配置 (山口県委託)	<p>⑥広報 ホームページへの掲載 チラシを作成し、県内ハローワーク、行政機関、図書館、県内病院、相談者に配布</p> <p>①ナースセンターに「ナースのお悩み相談室」を設置 毎日(土・日・祝日、年末年始を除く) 9:30~16:00 対面、電話、メール R5.4~ R6.3 相談件数 97件 (来所:30件、電話:61件、メール:6件)</p> <p>②施設訪問 55件 学校訪問 9件 ・求人施設からの相談対応(勤務環境に関する相談含む) ・学校における進路説明・進学相談対応 ・看護学校訪問</p> <p>③調整会議 3回開催 (R5.4.25、R5.10.19、R6.3.14) R5.10.19 再就業コーディネーターとの合同会議</p> <p>④広報 ホームページへの掲載 チラシを作成し、県内ハローワーク、行政機関、図書館、県内病院、相談者に配布 「ナースのお悩み相談室」チラシ5,000枚配布</p>																														
(6)看護師等就業協力員の育成 (山口県委託)	<p>①看護師等就業協力員研修会の開催 1回 R5.7.7 参加者18人</p> <p>②就業協力員の活動として学校訪問への支援</p>																														
(7)演習器材の貸出 (山口県委託)	<p>①器材の貸出 ・貸出対象 看護職員を配置する施設 ・貸出器材 8種 貸出件数R5.4~ R6.3</p> <table border="1" data-bbox="595 1332 1109 1653"> <thead> <tr> <th>器材名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>万能型成人実習モデル</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>呼吸音聴取シミュレーター</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>吸引シミュレーター</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>採血・静脈シミュレーター</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>装着式採血静脈練習キット</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>導尿・浣腸シミュレーター男性</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>導尿・浣腸シミュレーター女性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>②個人の技術演習 ・対象者 技術演習の希望者 ・演習日 2~4回/月程度 ・演習項目 採血・注射・吸引など 演習内容別参加状況 R5.5~ R6.3</p> <table border="1" data-bbox="595 1832 1348 1899"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>採血・点滴</th> <th>吸引</th> <th>心肺蘇生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>31</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>③広報 ・看護技術演習チラシ 855枚配布</p>	器材名	件数	万能型成人実習モデル	2	呼吸音聴取シミュレーター	3	吸引シミュレーター	3	採血・静脈シミュレーター	13	装着式採血静脈練習キット	1	上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター	4	導尿・浣腸シミュレーター男性	6	導尿・浣腸シミュレーター女性	3	合計	35	内容	採血・点滴	吸引	心肺蘇生	合計	件数	31	6	7	44
器材名	件数																														
万能型成人実習モデル	2																														
呼吸音聴取シミュレーター	3																														
吸引シミュレーター	3																														
採血・静脈シミュレーター	13																														
装着式採血静脈練習キット	1																														
上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター	4																														
導尿・浣腸シミュレーター男性	6																														
導尿・浣腸シミュレーター女性	3																														
合計	35																														
内容	採血・点滴	吸引	心肺蘇生	合計																											
件数	31	6	7	44																											

事業項目	主な事業内容															
(8)離職者・未就業者届出サポート (山口県委託)	<p>①届出について病院との連携体制の整備・強化 ②届出制度の広報・広告 ③相談対応、登録サポート ④届出者への情報提供 離職者・未就業者届出状況 R5.4～ R6.3</p> <table border="1" data-bbox="598 465 1332 667"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>届出数</td> <td>273</td> <td>進学過程の准看護師学生41人を含む</td> </tr> <tr> <td>うち電話等対応者数</td> <td>126</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち復職意向あり</td> <td>78</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うちeナース登録者</td> <td>59</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	件数	備考	届出数	273	進学過程の准看護師学生41人を含む	うち電話等対応者数	126		うち復職意向あり	78		うちeナース登録者	59	
項目	件数	備考														
届出数	273	進学過程の准看護師学生41人を含む														
うち電話等対応者数	126															
うち復職意向あり	78															
うちeナース登録者	59															
(9)看護職員再就業支援相談会 (山口県委託)	<p>①相談会の開催 県内5会場 R5.10月～11月 岩国、周南、山口、宇部、下関の5か所のハローワークとの共同開催 対象者 再就業を希望する者 参加施設 中小規模の医療機関や訪問看護ステーション等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク山口と合同開催 場所：パルトピアやまぐち R5.11.10 参加者施設数6施設 参加者20人 ナースセンター相談者3人 ・ハローワーク徳山と合同開催 場所：周南市文化会館 R5.11.29 参加者施設数6施設 参加者15人 ナースセンター相談者4人 ・ハローワーク下関と合同開催 場所：山口県国際総合センター（海峡メッセ下関） R5.10.30 参加者施設数21施設 参加者71人 ナースセンター相談者3人 ・ハローワーク宇部と合同開催 場所：ときわ湖水ホール R5.11.15 参加者施設数14施設 参加者46人 ナースセンター相談者4人 ・ハローワーク岩国と合同開催 場所：ハローワーク岩国会議室 R5.11.14 参加者施設数6施設 参加者18人 ナースセンター相談者7人 <p>②ナース・ハローワーク連携事業連絡調整会議(相談会のあり方についての検討会) 第1回目 R5.6.26 出席者11人 場所 山口地方合同庁舎 第2回目 R6.2.7 出席者11人 場所 山口県看護研修会館</p>															
(10)会議等への出席	山口県看護職員確保対策協議会(県)															
(11)日本看護協会との連携	<p>①労働担当者会議 R5.5.24(オンライン) ②看護職員の賃金制度の見直しに関する取り組み事例報告会 R5.9.12(オンライン) ③業務の効率化 先進事例アワードZ R5.12.22(オンライン) <中央ナースセンター事業関連> ①都道府県ナースセンター事業担当者会議 R5.6.2(オンライン) ②2023年度地域に必要な看護職確保推進事業 情報交換会(オンライン) 4回 (R5.6.15、R5.7.31、R5.9.6、R5.11.30) ③ジョブ・カード研修会 R5.8.23 ④2023年度都道府県ナースセンター就業相談員研修(オンライン) R5.9.13</p>															

事業項目	主な事業内容																																						
<p>2) プレナース発掘事業</p> <p>(1) 看護PRリーフレットの作成・配布(山口県委託)</p> <p>(2) 1日ナース体験(山口県委託)</p> <p>(3) 看護の魅力発見(山口県委託)</p> <p>(4) 看護職員の学校訪問(山口県委託)</p> <p>(5) 日本看護協会との連携</p> <p>3) 働き続けられる職場づくり推進事業</p>	<p>⑤ 都道府県ナースセンターキャリアコンサルティング研修(オンライン) 基礎コース R5.11.28、応用コース R5.12.8～9</p> <p>⑥ 職業紹介責任者講習会(オンライン) R6.1.15、R6.1.23、R6.1.31</p> <p>⑦ 2023年度地域に必要な看護職確保推進事業報告会(オンライン) R6.2.29</p> <p>⑧ 看護資格の活用基盤強化および看護補助者の確保・定着に関する説明会(オンライン) R6.3.6</p> <p>⑨ 第7次NCCSの機能に関する説明会(オンライン) R6.3.15</p> <p>看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布</p> <p>① 作成75,000枚</p> <p>② 配布</p> <table border="1" data-bbox="596 779 1410 913"> <thead> <tr> <th>配布先</th> <th>配布枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内の中学校(149校)・高等学校(91校)</td> <td>65,540</td> </tr> <tr> <td>県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等の関係機関</td> <td>9,460</td> </tr> </tbody> </table> <p>内容：施設見学、模擬看護体験、看護職員との交流 対象：中学生、高校生 期間：夏休み期間 施設：参加協力施設 54施設 参加者：中学生165人、高校生209人</p> <p>① 看護の魅力発見の開催状況</p> <table border="1" data-bbox="596 1193 1410 1518"> <thead> <tr> <th></th> <th>萩地域</th> <th>下関地域</th> <th>防府地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力病院</td> <td>全真会病院</td> <td>下関市立市民病院</td> <td>山口県立総合医療センター</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>R5.10.7</td> <td>R5.10.14</td> <td>R5.11.11</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>萩市民館</td> <td>下関市立市民病院</td> <td>山口県立総合医療センター</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>ミニナース体験、看護の進路相談などを実施</p> <p>② 実行委員会の開催 2回 第1回 R5.8.3 第2回 R5.12.12</p> <p>看護師等就業協力員による中学校訪問の実施 対象：中学生、高校生やそのキャリア教育を行う教員等 内容：看護の仕事や看護職となるための方法について普及啓発 訪問依頼件数：1校/年 R5.7～R6.3 訪問件数 22件</p> <p>① 若年層への情報発信の強化</p>	配布先	配布枚数	県内の中学校(149校)・高等学校(91校)	65,540	県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等の関係機関	9,460		萩地域	下関地域	防府地域	協力病院	全真会病院	下関市立市民病院	山口県立総合医療センター	開催日	R5.10.7	R5.10.14	R5.11.11	場 所	萩市民館	下関市立市民病院	山口県立総合医療センター	小学生	16	19	48	中学生	1	3	9	高校生	0	2	0	その他	22	10	50
配布先	配布枚数																																						
県内の中学校(149校)・高等学校(91校)	65,540																																						
県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等の関係機関	9,460																																						
	萩地域	下関地域	防府地域																																				
協力病院	全真会病院	下関市立市民病院	山口県立総合医療センター																																				
開催日	R5.10.7	R5.10.14	R5.11.11																																				
場 所	萩市民館	下関市立市民病院	山口県立総合医療センター																																				
小学生	16	19	48																																				
中学生	1	3	9																																				
高校生	0	2	0																																				
その他	22	10	50																																				

事業項目	主な事業内容
(1)働き続けられる職場づくりの啓発・支援	<p>①労働環境支援委員会 4回開催</p> <p>②看護職員就労定着支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルシーワークプレイス研修会① 対象：中間管理職 R5.7.11～12(2日間)参加者29人、26人 ・ヘルシーワークプレイス研修会② 対象：看護管理者 R6.1.18参加者34人 ・ヘルシーワークプレイス研修会③ 研修①受講者の実践事例報告R6.2.15参加者20人 ・セカンドキャリア支援研修会 R5.12.23(土) 一般教育研修参加 ※未就業、潜在看護職の参加0人 ・「セカンドキャリア人材バンク」の設置事業 令和5年度登録者 11人 人材活用件数(マッチング)6件
(2)日本看護協会との連携	
(3)医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣業務 (山口県委託)	<p>①アドバイザーを派遣 派遣回数2回</p> <p>②医療勤務環境改善セミナー受講 3回(R5.8.7、R5.12.18、R6.3.22)</p> <p>③広報 就業支援サポーターの施設訪問による案内55件 医療勤務環境改善セミナー 会員施設に案内</p>
<p>4)新型コロナウイルス対応事業</p> <p>(1)新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業 (山口県委託)</p>	<p>①宿泊療養施設等のマネジメント専門員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽症者宿泊療養施設(R5.5.8閉所)におけるマネジメント 訪問回数8回 ・軽症者宿泊療養施設開設～閉所までの約3年間の「医療における質評価」作成 ・閉所に伴う関連業務 <p>②看護職員の必要状況等の調査及び情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス感染症感染拡大への取り組み報告書 第2版」刊行 県内行政、医療機関、老人福祉施設、訪問看護ステーション等 約800冊送付 ・「新型コロナウイルス等感染症下における受援マニュアル」作成 県下138の医療機関看護管理者に送付 <p>③派遣可能な看護職員のマッチング</p> <p>④新型コロナウイルス感染症に関する研修の実施 病院等感染リンクナース育成研修会 R5.11.28開催 参加者39人</p>
(2)看護職員メンタルサポート事業 (山口県委託)	<p>①メンタルサポート専門員の配置</p> <p>②メンタルサポートに関するニーズ調査 139病院の看護管理者を対象にメンタルサポートに関する現状調査 調査期間：R5.9.8～9.20 回収率61.1%</p> <p>③メンタルヘルス相談 (ストレスコーチング) R5.4～R6.3 毎月第1土曜日、第3木曜日 対面およびZoomによるリモート面接 相談実人数：3人 延べ人数：7人</p> <p>④メンタルヘルス研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人看護職員研修 R5.5.13 受講者：81人 ・看護管理者研修 R5.7.8 受講者：57人 <p>⑤出張による個別相談および院内研修</p>

事業項目	主な事業内容
5)新型コロナウイルス感染症等に係る看護職等確保事業	<p>R5.11月～12月 山口県内8病院と1保健所 参加者：看護職124人(看護管理者81人、スタッフ43人) 看護職以外54人(医師、看護補助者、理学療法士、臨床検査技師、臨床工学技士、放射線技師、事務職等)</p> <p>⑥メンタルヘルス相談(ストレスコーチング)周知 チラシの作成・配布およびホームページへ掲載</p> <p>①災害及び新興感染症に備えた整備 ・医療法・感染症法改正後の県内大規模災害への対応 継続して災害支援可能な災害支援ナースの再登録 R5.4.1～ R7.3.31(新災害支援ナース200人程度養成できるまでの期間) 今年度登録者18人を含め計232人を登録 ・看護実践マニュアル(感染編を追加)を県内病院に送付 ・災害・新型コロナ等新興感染症の応援派遣対応できる職員の養成 新災害支援ナース養成研修 第1回 e-ラーニング R5.10～11月 集合研修 R5.12.6、7開催 受講修了者64人 第2回 e-ラーニング R5.11月～12月 集合研修 R5.1.17、18開催 受講修了者41人</p>
6)自治体保健師活動内容や魅力発信のためのイベント	<p>看護学生や保健師資格者等に自治体保健師の活動内容や魅力を発信するためのイベントを開催 R5.12.2 参加自治体 5施設 参加者17人</p>

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護業務の質の向上に関する事業 (1)保健師職能委員会	<p>①保健師職能委員会 9回 第1回R5.4.8 第2回R5.5.13 第3回R5.8.5 第4回R5.9.9 第5回R5.10.14 第6回R5.12.9 第7回R6.1.6 第8回R6.2.10 第9回R6.3.9</p> <p>②支部職能委員との合同会議 2回 (R5.10.14、R6.3.9)</p> <p>③全国職能委員長会 2回</p> <p>④地区別保健師職能委員長会 1回</p>
ア 保健師の連携強化及びネットワークの構築	<p>①保健師職能集会の開催 R5.6.24 ②保健師職能交流会の開催 R6.3.9 ③支部連携として合同会議の開催 ④会報やホームページによる情報発信 会報に「ひたむきな保健師」掲載 (年3回)</p>
イ 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進	<p>①研修会・交流会の実施 ②教育研修計画への参画</p>
ウ 活動の啓発および会員増加	<p>①保健師職能集会や交流会の開催 R5.6.24 参加者55人</p>

事業項目	主な事業内容
の推進	②リーフレットの活用 ③会報やホームページによる情報発信
(2)助産師職能委員会	①助産師職能委員会 6回 第1回R5.4.21、第2回R5.7.6、第3回R5.9.1、第4回R5.10.20 第5回R5.12.8、第6回R6.2.9 ②支部職能委員との合同会議 2回 (R5.10.20 R6.2.9) ③全国職能委員長会 2回 ④地区別助産師職能委員長会 1回
ア 周産期医療の現状と課題の把握	①職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 ②中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 ③保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出
イ 助産実践能力向上研修	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②助産実践能力向上研修(中堅助産師研修)の企画・運営・評価 ③CLoCMiPレベルⅢ認証研修の導入・活用推進
ウ 院内助産システムの推進と助産師出向導入支援システムの活用	①ガイドラインを活用した院内助産システムの推進 ②助産師出向導入支援事業との情報共有、協力
エ 災害時の対応	①災害時の対応について情報共有、情報提供
オ 広報活動	①イベントにおける助産師活動の周知活動 ・看護の日・国際助産師の日 ・いいお産の日 ②ホームページ等を活用しての周知
カ 3職能、4委員会との連携強化	①3職能、4委員会と地域包括ケアシステムについての情報共有と課題の検討
(3)看護師職能委員会 I	①看護師職能委員会 I 9回 第1回R5.5.25 第2回R5.7.20 第3回R5.8.17 第4回R5.9.21 第5回R5.10.12 第6回R5.11.30 第7回R5.12.21 第8回R6.2.15 第9回R6.3.21 ②支部看護師職能委員 I との合同会議 2回 (R5.11.30、R6.3.21) ③看護師職能委員会 II との合同会議 5回 ④全国職能委員長会(看護師職能 I・II) 2回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 看護実践能力の向上	①クリニカルラダーの活用、普及・推進に向けた活動 JNA版クリニカルラダー作成・導入のための講習会 2回 第1回R5.12.21 第2回R6.3.6 参加施設：5施設
イ 地域包括ケアシステムの推進に向けた、地域における看護力の連携と強化	①看護師職能委員会 II との連携強化 合同会議の開催による情報交換、情報共有

事業項目	主な事業内容
ウ 支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化	①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能Ⅱ委員会の課題等について意見集約
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 R5.6.23 参加者:41人 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
オ 日本看護協会との連携	①全国看護師職能Ⅰ委員長会議 2回 ②地区別看護師職能Ⅰ委員長会議 1回
(4)看護師職能委員会Ⅱ	①看護師職能委員会Ⅱ 9回 第1回R5.5.25 第2回R5.7.20 第3回R5.8.17 第4回R5.9.21 第5回R5.10.12 第6回R5.11.30 第7回R5.12.21 第8回R6.2.15 第9回R6.3.21 ②支部看護師職能委員Ⅱとの合同会議 2回 (R5.11.30、R6.3.21) ③看護師職能委員会Ⅰとの合同会議 5回
ア 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	①介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催 県内16施設で開催 R5.9月～R5.12月
イ 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	①看護師職能Ⅱ交流会の開催 R6.2.3 参加者32人 ②全国職能委員長会議 2回 ③地区別看護師職能Ⅱ委員長会議 1回
ウ 3職能4委員会および在宅ケア委員会との連携推進	①看護師職能委員会Ⅰとの連携強化 合同会議の開催による情報交換、情報共有
エ 支部看護師職能委員Ⅱとの連携強化	①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能Ⅱ委員会の課題等について意見集約
オ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 R5.6.23 参加者:41人 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
(5)職能集会	①保健師職能集会 1回 R5.6.24 参加者:55人 ②助産師職能集会 1回 R5.6.24 参加者:27人 ③看護師職能集会 1回 R5.6.23 参加者:41人
(6)看護制度委員会	①看護制度委員会 6回 第1回R5.4.25 第2回R5.6.14 第3回R5.7.28 第4回R5.10.5 第5回R5.12.5 第6回R6.3.5
ア 圏看護制度の課題解決への取り組み ①専門・認定看護師等、看護専門領域の資格取得者の地域活動の推進と連携強化 ②准看護師の資質向上とキャリア形成の推進	安定的な質を確保した看護の提供のために、看護専門領域の資格取得者の地域貢献活動について連携強化を図る。 ①県内の看護専門領域の資格取得者の活動についての実態把握 ②交流会を開催し看護専門領域の資格取得者が地域貢献活動を行う上での課題等の把握 ①准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けての支援 准看護師スキルアップ研修の開催

事業項目	主な事業内容
③看護師基礎教育4年制化に向けての取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・西部会場(山口県済生会下関総合病院) R5.8.19 受講者:9人 ・東部会場(あいぱーく光) R5.8.26 受講者:9人 ①看護師基礎教育4年制化の意義や必要性の周知、実現への機運を高める取り組み 看護師基礎教育を考える会の開催 R5.11.4 受講者:18人
イ 広報活動	①会報「きらめき」、HPへの活用、広報・活動報告
(7)助産師出向支援導入事業 (山口县委託)	①助産師出向支援の実施(1事例) 目的:研修 期間:R6.2.1~2.29 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催 第1回R5.8.3 第2回R6.3.21 ③助産師出向に関する調査の実施 期間:R5.10.1~11.22 対象:山口県内分娩取扱施設28か所 回答:17施設(回答率60.7%) ④助産師出向支援導入事業研修会の開催 R6.2.10 受講者24人 内容:助産師出向支援導入事業報告、産後ケア事業推進 ⑤令和5年度島根県助産師出向支援事業報告会への参加 R6.3.23 参加者2人
(8)新認定看護師等活躍推進事業 (山口县委託)	①県内の専門看護師、認定看護師等の活動の実際と地域活動展開にむけての課題抽出 交流会を開催するにあたり、事前に課題シートを作成し、現状や課題等を把握した。 ②専門看護師・認定看護師等の分野別、圏域別等ネットワーク構築を目指した交流会等の開催 R5.10.14 参加者63人 R5.10.21 参加者42人 看護管理者向け交流会の開催 R6.2.3 参加者25人 ③交流会で抽出された課題について、当事者及び看護管理者に情報を提供し共有した。

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)地域連携における看護の機能強化事業 (1)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (山口县委託事業 訪問看護師実践事業を含む)	支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護事業所管理者、地域包括支援センター保健師、行政保健師、居宅介護支援事業所等の相談関係機関担当者等による検討会を設置 ①検討会の開催 岩国支部:2回 柳井支部:2回 周南支部:3回

事業項目	主な事業内容
<p>(2)在宅ケアの推進</p> <p>ア 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み</p> <p>イ 在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進</p> <p>(3)訪問看護師育成支援事業 (山口県委託)</p> <p>ア 訪問看護活動の充実、推進</p> <p>イ 訪問看護師の看護実践能力の向上</p> <p>ウ 看護職間の相互理解、連携</p>	<p>防府支部：3回 山口支部：2回 宇部・小野田支部：3回 長門支部：2回 萩支部：3回 下関支部：3回</p> <p>②研修会・交流会等の開催 岩国支部：1回 柳井支部：訪問看護ステーション等見学実習：6日間 周南支部：1回 防府支部：1回 宇部・小野田支部：1回 長門支部：2回 萩支部：1回 下関支部：1回</p> <p>①在宅ケア推進委員会 5回 第1回R5.5.16 第2回R5.7.14 第3回R5.9.26 第4回R5.11.18 第5回R6.2.16 在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業支部運営委員会との意見交換を含む</p> <p>①山口県における在宅ケア推進における具体的な課題の抽出と検討 ・職能委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業(後)の各支部における在宅ケアの取り組みの現状把握 ・現状把握からみえる在宅ケア推進における看護機能の具体的な課題の抽出と検討 ・職能委員会、各支部との情報交換を行う中で、検討結果を基に看護機能に向けた取り組みの具体化を図る</p> <p>②看護機能強化に向けた各支部活動の取り組みとして、職能委員会における連携推進に関わる取り組み及び、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業における各支部活動に関する情報共有・情報交換を目的とした会議を開催 R5.11.18</p> <p>①訪問看護育成支援事業検討会との情報共有 2回</p> <p>①訪問看護推進協議会 1回 R6.3.14 ②訪問看護師育成支援事業検討会 3回 第1回R5.10.13 第2回R5.12.14 第3回R5.3.21</p> <p>①訪問看護研修ステップ1(新カリキュラムによる訪問看護初任者研修) R5.5.18～ R5.12.14 180時間 32日間(見学実習3日を含む) 1科目の公開講座を実施 R5.11.4 感染管理 受講者11人</p> <p>②訪問看護師スキルアップ研修(中堅者から管理者対象研修) R6.2.10、11 受講者23人 R6.2.22 受講者23人</p> <p>③訪問看護入門研修(訪問看護未経験者、訪問看護新任者対象研修) 1日目 R6.1.16 2日目 R6.2月実習1日もしくはR6.2.15集合研修</p> <p>④訪問看護のクリニカルラダーの普及に向けての周知活動</p> <p>①訪問看護研修ステップ1の公開講座および訪問看護の情報提供</p>

事業項目	主な事業内容
<p>強化の取り組み</p> <p>エ 在宅感染管理研修事業 (山口県委託)</p> <p>(4)日本看護協会及び関係団体との連携</p> <p>2)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営</p>	<p>②訪問看護実践研修への参画、提言</p> <p>①訪問看護師等在宅療養を支援する看護職に向けた研修の実施 新型コロナウイルス感染症の法改正後の対応について R5.7.26 受講者47人 出張研修会 R6.2.10 受講者39人 R6.2.16 受講者10人 R6.3.2 受講者36人</p> <p>②在宅療養者等向け感染管理啓発パンフレット作製 在宅療養者とその家族向け 4,300冊印刷 在宅療養支援者向け 2,800冊印刷 訪問看護事業所等関係機関に送付</p> <p>①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力 ③訪問看護連絡協議会全国会議への参加 2回</p> <p>①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ほうふ：43件訪問 とくち：40件訪問 ひかり：32件訪問 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ほうふ：3件 とくち：3件 ひかり：7件 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催 2回</p> <p>②質の高い訪問看護サービスの提供 ・訪問看護サミット2023への参加 ・訪問看護集中セミナーへの参加 ・日本看護学会在宅看護への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催 9回 ・感染症予防(標準予防策の徹底)</p> <p>③訪問看護に関わる関連団体との協力 ・看護学生などの実習受け入れ ほうふ・とくち：24人 ひかり：15人 ・関係団体との連絡調整・会議 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携</p> <p>④広報活動 ・本協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布</p>

事業項目	主な事業内容
<p>3)健康相談・啓発等の事業</p> <p>(1)「まちの保健室」活動の実施</p> <p>(2)「国際助産師の日」活動支援</p> <p>(3)がん総合相談窓口の設置 (山口県委託)</p> <p>4)災害時の看護支援活動に関する事業</p> <p>(1)新体制の災害支援活動の整備 および既存体制の再構築</p> <p>(2)新体制の災害支援ナースの養成 および資質向上のための支援</p> <p>(3)平常時の防災活動の推進</p>	<p>①各支部の「まちの保健室」担当者会議の開催 支部運営会議で情報交換・共有</p> <p>②普及啓発グッズの配布</p> <p>③関係機関との連携推進</p> <p>④「まちの保健室」企業と連携</p> <p>⑤健康フェア等への出展</p> <p>①各支部助産師職能活動支援(リーフレット、ポスター等の配布)</p> <p>①相談窓口の設置 月曜日～金曜日 相談件数：がん226件、がん以外9件</p> <p>②看護職による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援 山口県がん診療連携協議会相談支援部会会議(Web会議)3回 R5.8.3、10.17 1名参加 R6.2.22 2名参加</p> <p>③がん相談支援スキルアップ研修会参加 R5年度山口県がん相談支援スキルアップ研修会 R5.12.23 1名参加 第38回日本がん看護学会学術集会(web) R6.2.24、25 2名参加</p> <p>④相談窓口の積極的な利用の促進 広報活動 新聞広告掲載24回(朝日・毎日・読売)、 フリーペーパー広告掲載23回(ほっぷ・SUNDAY宇部) 広報用マスク・マグネットの提供(各支部活動・県民公開講座等 各3,500)</p> <p>①新体制災害支援体制の整備 R5.4.1～R7.3.31(新災害支援ナース200人程度養成できるまでの期間)の県内大規模災害への対応のため、継続して災害支援可能な災害支援ナースの再登録実施 計214人</p> <p>②2023年度災害支援ナース(2022年受講者)18人新規登録</p> <p>③既存の災害支援ナースフォローアップ研修企画・運営 R5.7.13(木)災害支援ナースフォローアップ研修 参加者79人</p> <p>④災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動</p> <p>①新災害支援ナース養成研修 第1回e-ラーニング R5.10～11月 集合研修 R5.12.6、7 受講修了者64人 第2回e-ラーニング R5.11月～12月 集合研修 R5.1.17、18 受講修了者41人</p> <p>②災害支援ナース指導者研修 R6.2.28 R6.3.1 受講者3人</p> <p>①山口県総合防災訓練への展示参加など訓練への参加 R5.6.4 参加者 災害支援員等9人</p> <p>②災害受援マニュアル作成・看護実践マニュアル(感染編を追加)改正 県内病院に送付</p> <p>③災害支援物品の整備</p>

事業項目	主な事業内容
(4)日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働	①都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 R5.12.14 参加者2人 ②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携
(5)災害支援ナースの派遣	①能登半島地震災害 期間R6.1.18～2.5 実人数24人 延人数96人
(6)委員会	①災害支援委員会 7回開催
5)「看護の日」及び「看護の心」PR事業	
(1)看護の日・看護週間行事開催	①2023年度「看護の日・看護週間」イベント開催 ・高校生と保護者を対象に「看護の日」トークイベントのパブリックビューイングを開催し、進路相談を実施。 R5.5.7(日) 参加者15人(高校生12人、保護者3人) ②会員施設等において県民を対象に看護の日・看護週間行事開催 19施設 参加者3,331人 ③「ふれあい看護体験(職場体験等)」を、児童・生徒等を対象として会員施設で開催 R5.5月～8月 6施設、計88人が参加 ④「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布
(2)看護のPR	①県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展 参加者109人 ②やまぐち未来のしごとフェスタ出展 R5.10.3・4開催 参加者621人 ③みらいWalker★UBE出展 R5.10.4・5開催 参加者246人 ④職場体験 ⑤進路相談

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1)日本看護協会との連携強化事業 (1)諸会議への出席	<p>※法人事業</p> <p>①通常総会 R5.6.7 ②理事会 6回 ③法人委員会 5回 ④代議員研修会 R5.5.27 ⑤都道府県看護協会政策責任者会議 R5.9.21 ⑥会員情報管理情報交換会 R5.7.5 ⑦都道府県看護協会広報担当役員会議 R5.11.6</p> <p>※公益事業</p> <p>⑧全国職能別交流集会 R5.6.8 ⑨全国職能委員長会 第1回R5.7.28 第2回R6.3.1 ⑩地区別職能委員長会 R5.11.2 ⑪訪問看護連絡協議会合同会議 R5.11.17 ⑫ナースセンター事業担当者会議 R5.6.2 ⑬全国看護基礎教育担当役員会議 R5.12.20</p>

事業項目	主な事業内容
(2)日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	⑭都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 R5.12.14 ⑮都道府県看護協会看護労働担当者会議 R5.5.24 協力の詳細については各事業計画を参照

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)研修会館の貸与事業 (1)公益目的使用への施設の貸与	①本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し会議室等を低廉な料金で賃貸 1件 ②会員及び支部に対し会議室等を無料貸出 20件

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)福利・厚生事業	①名誉会員制の継続 新規4人 ②各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施 3人表彰 ④死亡弔慰金の支給 3件 ⑤会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥レジャー施設入場支援 ⑦レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益/収益等/法人)

事業項目	主な事業内容																
1)看護職への支援事業 (1)相談支援センター活動推進	①相談支援センターの運営 相談 19件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>就業関連</th> <th>業務</th> <th>職場環境</th> <th>研修</th> <th>進学</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	分類	就業関連	業務	職場環境	研修	進学	その他	計	件数	4	4	3	3	2	3	19
分類	就業関連	業務	職場環境	研修	進学	その他	計										
件数	4	4	3	3	2	3	19										
2)支部活動事業 (1)支部活動の推進	①支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ②支部運営会議による協議 第1回 R5.8.6 第2回 R5.11.18 第3回 R6.3.16																
3)組織運営に関する事業																	

事業項目	主な事業内容
(1)適正な財産運営	①健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営
(2)各種事業運営	①通常総会(※法人) R5.6.17 ②理事会(※法人) 7回 常務理事会(※法人) 5回 監査会(※法人) 2回 ③その他事業(各種会議)(※法人) ・支部運営会議 3回 ・推薦委員会(※法人) 3回 ・県・支部推薦委員合同会議(※法人) 1回 ・選挙管理委員会 1回 ・他、各種会議(※法人)
(3)看護政策推進のための組織強化事業	①地域の政策力強化(※法人) ・認定看護管理者会への参加 ・看護職員就業施設訪問 ・看護管理者会議によるネットワーク強化 ②看護協会入会促進 ・入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 看護学校・訪問看護ステーション・福祉介護施設等 ・看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等 ・看護学校卒業生への啓発活動
4)広報活動事業	
(1)広報活動	①会報「きらめき」発布(※公益/収益等) ・年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ資料配布 ・委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ②ホームページの更新、活用(※公益/収益等) ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ③看護の日イメージキャラクター「かんごちゃん」の着ぐるみ、ぬいぐるみ及びグッズを利用した情報発信 ④SNS(LINE)を利用した会員への情報発信
(2)各種情報提供	①会員増加の推進(※収益等/法人) ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」「日本看護協会入会のご案内」「日本看護協会事業案内」を入会希望施設、未入会施設に配布 ②タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) ・通送便 1回/月 ・印刷物等配布
5)他団体との連携	
(1)看護教育機関との連携	①入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ②見学・実習の受け入れ(※公益) ③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人)
(2)看護関連政策の推進	①要望・事業提案(※法人)

事業項目	主な事業内容
(3)他団体との共催行事	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度施策・予算措置についての要望書を提出 ・令和6年度地域医療介護総合確保基金(医療分)の事業提案 ・山口県看護連盟との連携 合同研修会：R6.2.23 <p>①医療関係団体新年互例会(※法人) R6.1.6</p> <p>②研修会等の後援</p> <p>③研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載</p>

令和5年度 一般教育研修実績報告

【新人研修】

研修名(テーマ)	開催日	受講者数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
専門職業人として求められるもの ～山口県看護協会について～ 新人看護職の皆さんへ ～先輩からのメッセージ～ 新人看護職、いきいき楽しく働こう	5/13 (土)	81	14	67
伝える力を身につけよう ～相手に思いが伝わるコミュニケーション技術～	9/1 (金)	44	24	20

【看護研究】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
看護研究にトライ！ ～テーマの発見から研究計画書の作成まで～	5/17(水)	82	73	9
量的研究の悩みを解決！ ～アンケート調査研究とデータ分析～	7/7(金) 7/8(土)	33	31	2

【看護管理】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
成果がみえる目標管理	6/3(土)	50	49	1
看護管理者のための ストレスマネジメント	9/29(金)	37	35	2
【オンライン研修】 現場で活かせる中堅・ベテラン看護師の育成術 ～ファシリテーションとコーチングから学ぶ～	11/15(水)	53	52	1
【オンライン研修】 特定行為研修修了者の活用 ～マネジメントと仕組みづくり～	10/14(土)	25	25	0
【オンライン研修】 組織を活性化するポジティブマネジメント	12/17(日)	28	27	1

【自己教育】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
PEP TALK! ～元気・活気・勇気を与えるトーク術～	8/18(金)	63	60	3
「自分らしく輝き続けるために！」 ～キャリアをいかし豊かな人生設計を考える～	12/23(土)	84	83	1
あげよう！仕事のモチベーション ～働く上で持っておきたいセルフコントロール スキル～	7/28(金)	91	86	5

看護実践能力【ニーズをとらえる力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
事例から学ぶ臨床推論	9/7(木)	76	75	1
ハート先生の 「ナースのための心電図教室」	9/12(火)	147	145	2
これだけは知っておきたい 人工呼吸器の取り扱いと看護	11/22(水)	136	129	7

看護実践能力【ケアする力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
見過ごしてはいけない急変の徴候と対応	8/22(火)	167	155	12
学びなおそう！ 摂食・嚥下ケアの基本と実践	7/11(火)	118	103	15
「フレイル・サルコペニア」を防ごう！ ～基礎知識とケアのポイントを学ぼう～	12/16(土)	67	66	1
感染対策の基本と最新情報(1日目) 感染の基本的な考え方、標準予防策 消毒・滅菌、環境表面管理等	9/14(木)	96	89	7
感染対策の基本と最新情報(2日目) 各領域の予防策 カテーテル関連尿路、血流感染 医療関連肺炎、手術部位感染	9/15(金)	82	80	2
ケアの実践と根拠が見える看護記録	12/20(水)	204	184	20
小児によくある症状の初期評価と看護の基本 ～小児看護のポイント(乳児・幼児・学童期)～	10/21(土)	41	39	2

看護実践能力【協働する力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
医療安全のためのノンテクニカルスキル ～KYTを体験して医療事故防止を考えましょう～	5/20(土)	45	32	13
地域につなぐ看護 ～地域での生活を見据えた連携～	8/29(火)	118	111	7
災害時の看護職の役割 ～平時からの心構え～	7/5(水)	94	91	3
これからの外来看護 ～外来看護が担う役割と必要な能力とスキル～	10/7(土)	87	84	3

看護実践能力【意思決定を支える力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
患者さんに行う最期のケア ～エンゼルケア～	10/13(金)	107	105	2
認知症のひとの身体拘束予防ケア	10/4(水)	148	137	11
高齢者の意思決定支援	R6年 1/27(土)	105	103	2
現場で起こっている倫理的問題を考えよう ～重症・急性、慢性期、がん看護の現場から～	11/1(水)	78	78	0

リクエスト枠

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	一般受講者数
アンガーマネジメント	6/28(水)	83	80	3

令和5年度 支部事業報告

岩国支部事業報告

支部長 浜 佳恵

活動目標	全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携
評価と今後の課題	支部での活動、地域での活動を計画通り実施することができた。3支部合同看護マネジメント研究会、その他研修実施で、看護職間での連携にとどまらず、多職種間での連携も深めることができた。次年度は、まちの保健室の実施回数の増加、地域における看護力のさらなる強化を目指す。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	<p>1)教育研修：R5.7.15(土)岩国支部集会 特別講演 「認知症患者の身体拘束予防」～抑制に頼らない看護を目指そう～ 講師：岩国医療センター認知症看護認定看護師 名川ゆかり氏 参加者：59人</p> <p>2)職能研修：岩国市医師会コ・メディカル研修会 R5.11.16(木)19：00～20：30 開催 「ときどき入院。ほぼ在宅」地域への取り組みに向けた多職種研修会Ⅱ 参加者：73人</p> <p>3)第4回3支部合同看護マネジメント研究会(開催地：岩国市) R6.2.3(土)13：00～17：00 開催 発表：12演題 参加者：101人(岩国39人、周南36人、柳井26人)</p>
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 労働環境に関わる研修参加への働きかけ及び圏域の看護管理者ネットワーク会議への参加と情報共有
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	<p>1)看護の日及び看護の心PR行事、国際助産師の日の開催 各施設で実施</p> <p>2)まちの保健室活動 (1)健康年齢維持運動：リーフレット等配布 R5.10.15(日)岩国まつり開催日に岩国YMCA保健看護専門学校で実施 (2)岩国市地域包括ケア推進大会参加 R5.11.19(日)</p> <p>3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会：2回開催(R5.6.3、8.24) 研修会：R5.11.16(木)岩国医師会コ・メディカル研修会開催</p>
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	<p>1)看護職交流会：R5.9.7(木)14：00～15：30(対象：協会員) 看護師の健康維持への取り組み～健康に繋がるヨガ～ 参加者21人</p> <p>2)表彰者推薦事業 表彰者へのお祝い</p>
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	<p>1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(支部長他) ・岩国看護管理者ネットワーク会議 2回/年(7/27、2/22) ・地域医療支援病院審議委員会(8/24書面、12/7、3/14) ・岩国医療圏地域医療構想調整会議(7/11、11/2、2/8) ・岩国圏域保健医療対策協議会会議(11/2、2/8)</p> <p>(2)看護学校への入学式・卒業式 祝電</p> <p>2)支部集会：R5.7.15(土)開催 出席者59人 委任状351人</p> <p>3)支部役員会・職能委員会・教育委員会6回(6/3、7/15、8/24、10/26、12/9、2/29)開催)</p> <p>4)広報活動 ①県協会報「きらめき」②県協会ホームページへの投稿</p>

柳井支部事業報告

支部長 田山千里

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2) 支部活動を通して、親睦、情報交換の場とする。 3) 「まちの保健室」の活動を通して地域住民の健康福祉に寄与する。
評価と今後の課題	まちの保健室は今年度後半より行政機関と連携して地域の行事に参加し地域住民に健康への啓発を行っていく予定である。支部集会及び支部集会前の特別講演は、人数制限しつつも会員現地参集で開催できた。3支部合同看護マネジメント研究会は、12演題発表にて参加人数101人であった。在宅療養支援のための看護職の連携推進研修における柳井支部訪問看護ステーション等見学実習は、計7人の実習生が6施設で実施できた。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 R6.2.3(土)13:00~17:00 101人参加(柳井支部26人参加)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけやコロナ禍の看護職支援のメンタルヘルス相談の活用の働きかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 ①各施設で状況に応じて実施 2) 健康相談・啓蒙等の事業 (1) 国際助産師の日事業 ①各施設で状況に応じて実施 (2) 進路相談 ①各施設で実施 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1) 検討会1回目R5.10.4(水)、2回目R6.2.1(木)実施 (2) 研修会は訪問看護ステーション等見学実習とし、計7人の看護師が6施設で実習した
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1) 表彰候補者の推薦 ①県協会への協力 2) その他の事業 ① 支部集会前研修→7/8(土)講演会「ACPを行ううえでの看護師の関わり」 出席者52人 講師：周東総合病院緩和ケア認定看護師 用傳恵美氏
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席 令和5年度柳井医療圏地域医療構想調整会議会及び地域密着型サービス運営委員会参加 (2) 看護学校3校 入学式・卒業式祝電 2) 支部集会 R5.7.8(土) 出席者52人 委任状388人 3) 支部役員会 予定通り5・6・9・12・3月の計5回開催 4) 支部委員会①職能委員会②教育委員会③推薦委員会④選挙管理委員会 5) 広報活動 ①県協会広報「きらめき」への投稿 ②県協会ホームページへの投稿

周南支部事業報告

支部長 山本美紀

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化と看護力の向上 2) 会員相互の親睦を図り、多職種との連携を深める
評価と今後の課題	3年ぶりに支部活動が計画通りに実施できた。まちの保健室活動では、行政機関と連携し、地域住民の皆様と久しぶりに触れ合い、笑顔で対話ができる喜びを感じた。今後も継続した活動を行っていききたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 ① 教育委員会研修 R5.9.16(土)参加者：46人 ② 職能委員会研修 R5.11.25(土)日本 参加者：30人 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 担当：岩国支部 日時：R6.2.3 参加者：101人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり ① 県協会労働環境支援委員会の研修参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 各施設で日時を決定して実施、ポスター掲示及びグッズの配布 2) 健康相談・啓蒙活動の事業 (1) まちの保健室 2回(1回目R5.9.2 2回目R5.12.3)参加者：336人 (2) 国際助産師の日事業 ① イベント「いいお産の日」 中止 (3) 進路相談 ① 各施設で実施 (4) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ① 検討会3回(R5.6.23 R5.9.22 R5.12.8実施) ② 研修会R5.10.14 参加者36人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1) 会員への福祉厚生等に関する事業 (1) 表彰候補の推薦 (2) 山口県優良看護職員知事表彰の推薦 2) その他事業 (1) 看護管理者交流会 R5.7.15(土) 参加者：26人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1) 支部集会 R5.7.15出席者：28人 委任状：1600人 2) 支部役員会 3回(R5.5.11 R5.9.14実施 R6.3.7書面開催) 3) 支部委員会 職能委員会 職能委員会 5回 (R5.5.11 R5.9.14 R5.11.9 R6.1.11実施 R5.8.10書面開催) 推薦委員会 1回 選挙管理委員会 1回 4) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」へ投稿 (2) 県協会ホームページへ投稿 5) 地域会議への出席 7回 (1) あ・うんネット周南ワーキング 検討会2回 研修会 1回(R5.10.5)

防府支部事業報告

支部長 杉山真弓

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護力の連携強化・看護の質の向上 2) SNSにて啓発活動を行い、地域や他職種との交流や連携を深めることができる
評価と今後の課題	在宅療養支援のための看護職連携推進研修会にて、他職種との交流ができた。連携の強化や看護の質の向上のために今後も継続して行う必要がある。インスタグラム投稿により、支部の活動を幅広く知ってもらえるきっかけになったと感じる。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 教育委員会 教育研修会 R5.7.1「アナフィラキシーについて」 講師：山口県立総合医療センター 藤本晃治氏、藏田康秀氏 2) 教育委員会・職能委員会合同研修会 R6.2.17「急変前の状態を言葉にできる」 講師：山口県立総合医療センター 藤本晃治氏、池田美智子氏 3) 職能委員会 インスタグラムに研修の告知、研修内容の投稿
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 看護職への推進事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ ② インスタグラムにて支部の活動PR
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 ① イオン防府店内での看護の日PR及び健康相談を実施 2) 健康相談・啓蒙等の事業 (1) まちの保健室開催 イオン防府店内1回、勝間小学校PTAバザー出店1回、フリーマーケット出店1回 (2) 進路相談・看護職の就労支援 3) 在宅療養支援に係る看護職連携推進の強化 (1) 検討会3回 (2) 研修会1回 R6.2.8「進化(深化)する在宅医療～患者のニーズに応える在宅療養支援診療所を目指して～」 講師：波乗りクリニック 院長 小早川 節氏
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	会員の福利厚生等に関する事業 (1) 表彰候補者の推薦 ① 県協会へ協力 (2) その他の事業 ① 親睦会 中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	(1) 支部役員会 8回 開催 (2) 支部委員会 ① 職能委員会 8回 ② 教育委員会 8回 ③ 推薦委員会 2回 ④ 選挙管理委員会 1回 (3) 広報活動 ① 県協会報「きらめき」への投稿

山口支部事業報告

支部長 口羽理恵

活動目標	1)在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携を図る 2)看護職の確保と定着を図る
評価の今後の課題	「一般教育研修」「まちの保健室」は4年ぶりの開催となった。ほとんどの役員・委員共に、支部活動未経験者であったが、なんとか活動を始めることができた。次年度も、活動を徐々に増やしていきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員会 ①教育委員会企画研修会 1回 日時：R5.12.23(土)9:00~12:00 場所：山口県健康づくりセンター 講師：山口県立大学看護栄養学部看護学科 家入裕子氏 内容：新型コロナウイルス感染症流行からの学びと今後に向けての備え
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)看護職の人材確保・就業支援 ①看護学校との情報交換と地域の高校生等への就業支援 ・訪問看護の紹介・一般的な看護師の仕事の内容・認定看護師施設の動画を作成している。山口県看護協会のホームページへの掲載について検討中
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「まちの保健室」開催：山口市平川まつり 日時：R5.11.19(日)8:40~12:00 場所：山口市平川中学校グラウンド 内容：体脂肪測定・血管年齢測定・血圧測定・がん検診・健康相談 「かんどちゃん」着ぐるみ借用 2)在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会 (1)第1回 日時：R5.10.13(金)18:30~19:30 場所：山口幸楽苑通所リハビリセンター 内容：会計担当者の決定・「看護情報提供者」について検討 (2)第2回 日時：R6.3.22(金)18:30~19:30 場所：山口幸楽苑通所リハビリセンター 内容：会計担当者の決定・「看護情報提供者」について検討
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)講演会(支部集会后) 1回 日時：R5.7.22(土)15:00~16:00 場所：ゆーあいプラザ山口県社会福祉会館 講師：山口公認心理師協会・公認心理師 杉浦崇仁氏 内容：ストレスの多い看護職のストレス対処法
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部組織の強化に関する事業 (1)支部活動の充実 ①地域会議への出席：7回 ②看護学校関連事業参加：戴帽式祝電3校・入学式祝電1校 2)組織運営に関する事業 (1)支部役員会 5回 (2)支部委員会 ①職能委員会 5回 ②教育委員会 5回 ③推薦委員会 5回 ④地域連携推進委員会 5回 3回目(10/13)より、在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会を兼ねる ⑤選挙管理委員会 2回 3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿

宇部支部事業報告

支部長 牟田 薫

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の連携と強化
評価と今後の課題	4年ぶりに一般会員も参加する形で支部集会を開催した。支部集会後の教育研修では昨年度に比べて参加者が増加した。いずれも感染対策を徹底し問題なく終えることができた。引き続き感染対策を行い、会員のニーズに沿いながら看護力の強化に繋がる研修を検討していく。 健康相談・啓発等の事業については商業施設の健康ブースでパンフレット等の配布を行った。今後はパンフレット等の配布とともに対面での健康啓発事業を検討していく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修会 ①R5.7.22(土):「スキンケアの予防とケア」 講師:セントヒル病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 山本房代氏 出席者:62人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)健康ブース、保健センター、こころの日のイベントで健康関連パンフレットを配布した 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化(小野田支部と合同) 医療圏別訪問看護実践研修検討会 第1回検討会 R5.6.16(金) 出席者9人 第2回検討会 R5.9.15(金) 出席者8人 第3回検討会 R6.2.9(金) 出席者6人 研修 R5.8.1(火):「在宅医療の実際と病診連携強化について ～ここまで出来る在宅医療(そこからは入院で!)～」 講師:波乗りクリニック院長 小早川節氏 参加者:45人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)三職能合同研修会 R5.12.18(月):「アロマでリラックス ～患者さんにも活用できるハンドマッサージ～」 講師:山口宇部医療センター 理学療法士 メディカルアロマインストラクター 石光雄太氏 出席者:21人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部役員会 6回開催 2)支部委員会 教育委員会 5回 推薦委員会 1回 3)支部集会 R5.7.22(土) 出席者:57人 委任状:1772人 4)その他 (1)看護学校入学式、卒業式祝電 ①看護学校戴帽式祝辞 (2)地域会議への出席 ①新型コロナウイルス感染症対策圏域会議 R5.4.11 WEB会議 県予防計画改定に係る圏域会議 R5.8.4 WEB会議 新型コロナウイルス感染症対策圏域会議 R5.9.27 WEB会議 ②宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 R5.7.12 WEB会議 宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 R5.10.24 WEB会議 宇部・小野田地域保健医療対策協議会 R5.10.24 WEB会議 宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 R6.2.1 WEB会議 宇部・小野田地域保健医療対策協議会 R6.2.1 WEB会議 (3)広報活動 ①県協会「きらめき」へ投稿

小野田支部事業報告

支部長 土井直子

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
評価の今後の課題	新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたが、感染対策は引き続き必要であり、対面で実施する「まちの保健室」の再開回数について検討中である。「健康フェスタ」参加は、展示ブースの設置と委員の参加による対面形式で実施することで、今後の「まちの保健室」の内容について課題が見つかった。今年度も教育研修会は、オンライン研修を実施した。対面での研修は、研修場所・日時も含め検討していきたい。「看護の日」は工夫し実施できている施設もある。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 1回(教育委員会) R6.2.15(木) 17:30~18:30 「がん化学療法における皮膚障害について」 講師 がん化学療法認定看護師 竹内織恵氏 *大塚製薬共催 情報提供15分「がん化学療法時の栄養管理について」 出席者115人 アンケート結果 (総合評価) 研修内容 よかった:84% 回答
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職の健康増進促進事業 R5.11.19(日)「SOS健康フェスタ」展示ブース設置 血圧測定・体脂肪測定・健康相談・AGES測定の実施 職能委員メンバー7人参加(かんごちゃんポロシャツ着用) (活動報告)測定・相談件数111人 10代:1 20代:1 30代:8 40代:12 50代:19 60代:33 70代:30 80代以上:21
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」行事:各施設で「花の種」の配布、展示ブースの設置を実施 2)「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事:中止 3)「まちの保健室」 4)山陽小野田市「第14回SOS健康フェスタ」展示ブースと参加 展示ブース、がん予防啓発・健診参加パンフレットの配布 5)看護体験実施:実施可能な施設で実施 6)在宅療養支援に係る看護職の連携推進強化事業(宇部支部と合同) (1)検討会 3回 R5.6.16 R5.9.15 R6.2.9 (2)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 R5.8.1 17:30~17:50 「在宅医療の実際と在宅・医療連携強化について」 ここまでは出来る在宅医療(そこからは入院で) 講師 波乗りクリニック 小早川節氏
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	支部交流会中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部集会 R5.7.22(土) 「高齢者の熱中症救急搬送数ゼロを目指して」 ～知っておきたい経口補水療法の有用性～ 講師 株式会社 大塚製薬 利根義人氏 出席者 13人 2)支部役員会 4回 R5.6.14 8.23 12.13 R6.2.7 3)支部委員会 (1)教育委員会 4回 R5.6.14 8.23 11.8 R6.2.7 (2)職能委員会 4回 R5.6.14 8.23 11.8 R6.2.7 (3)推薦委員会 2回 (4)選挙管理委員会 1回 4)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(Web会議・書面会議含む) ①山陽小野田市健康づくり推進協議会 1回 ②宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 3回 ③山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会 3回 ④山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会連携システム部会 3回 ⑤山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会連携広報部会 4回 ⑥宇部小野田保健医療圏会議 1回 5)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿

長門支部事業報告

支部長 花島まり

活動目標	1) コロナ禍において、地域包括ケアのための看護職の連携を強化する。 2) 地域住民の健康増進活動を推進する。
評価と今後の課題	上半期は感染症予防対策のためにオンラインで情報交換を行った。下半期から集合研修会、まちの保健室、救護活動等を再開した。地域の看護職の交流ができなかったのが次年度の課題である。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 R5.10.4(水)「糖尿病看護」 長門総合病院糖尿病看護認定看護師 大田親子氏 参加者50人 (2) WEB研修 2回 ①R5.9.21 参加者110人 ②R6.3.19 参加者60人 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 支部看護研究指導 5グループ ①R5.7.6 ②R5.10.19 (2) 看護研究発表会 R6.2.29(木) 発表5グループ
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ 2) 看護管理者会議 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議：R5.11.22(水)
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」、看護の日・看護週間に4病院で実施 2) まちの保健室 3回/年 3) 国際助産師の日事業：「助産師まつり」感染対策のため中止 4) 進路相談：R5.8.10(木) 一日看護体験13人、職場体験時に実施 5) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会2回 ①R5.10.4 ②R6.2.29 研修会 ①R5.12.22 ②R6.2.16
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1) 表彰候補者の推薦 2) 地域の看護職員交流会 実施なし
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1) 支部活動の充実 地域会議への出席(支部長他) 4会議に出席 2) 支部集会 R5.7.20(木)出席者45人 委任状150人 計195人 会場：長門市地域医療連携支援センター 2階研修室 3) 支部役員会：R5.7.10(月) 4) 支部委員会 ①職能委員会 ②教育委員会 5) 広報活動 県協会「きらめき」の投稿

萩支部事業報告

支部長 田中好江

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護職の連携強化 2) 地域活動を通して域住民に対し看護協会の普及啓発を図り、あわせて健康向上に貢献する。
評価と今後の課題	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、看護協会活動も感染対策を講じながらではあるが、遂行できている。また、まちの保健室は通常開催とふるさと祭りでも実施することができた。今年度は、対面での研修会や会員同士の交流会も開催することができた。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 一般教育研修 (1) 教育委員・職能委員の合同研修会 日時：R5.12.16(土) 13:30～15:00 参加者45人 テーマ：「医療安全について」 講師：山口県立総合医療センター 医療安全推進室 リスクマネージャー 米原奈美子氏 会場：萩市地域医療連携支援センター 1階大会議室
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 看護の日及び看護週間行事の開催 (1) 看護の日は2施設で実施→都志見病院・萩慈生病院 2) まちの保健室の開催：萩図書館 R5.7.15(土)より、原則第2・第4土曜日に萩図書館及び萩ふるさと祭り等で実施：9回 3) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 (1) 検討会3回 (2) 研修会1回 → R5.11.9 18:30～20:00 参加者53人 ～在宅医療を支える関係者の研修・交流会～ 会場：萩市総合福祉センター多目的ホール 4) その他の事業 (1) 地域行事での救護協力 →萩・花火大会(R5.8.1)：2人 萩城下町マラソン(R5.12.10)：8人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	支部親睦交流会 →R6.3.10(日) 10:00～11:30 「リラクゼーション」講師：フリーインストラクター 戸川勝也氏 会場：萩市総合福祉センター多目的ホール 参加者：23人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1) 支部集会開催 R5.7.26(水) 2) 支部役員会 7回開催 3) 支部委員会：各委員会で開催

下関支部事業報告

支部長 小山亜弥

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
評価と今後の課題	今年度はほぼ計画通りに実施でき、コロナ禍前と同様の形式で行うことができた。今後は支部に求められる役割について検討しながら、会員および地域へ貢献していきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修(教育委員会主催) R5.10.27(金)「高齢者のフィジカルアセスメント循環器編～不調のサインを見逃すな～」受講者50人 R6.2.22(木)「身体抑制ゼロの認知症ケア～身体抑制しないためのかわり方の基本と対応の実際～」受講者33人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 (1)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (2)市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2)R5.5.21(日)「看護の日」イベント、「国際助産師の日」事業、合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催8回 (2)地域行事での救護協力R5.11.5(日)海峡マラソン 参加者31人 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会3回 研修会R5.10.31(火)「在宅療養支援へ向けて地域との連携」受講者33人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生 (1)研修会開催(職能委員会主催) R5.6.6(火)「グリーンケア～死に直面した本人と家族・大切な人を亡くした家族に、あなたはどのように関わることができますか～」受講者52人 R5.9.28(木)「聴覚障害者に対する医療現場での対応」受講者24人 (2)会員交流会 未実施
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)支部集会 R5.7.21(金) 出席者78人 委任状1333人 (2)支部役員会 7回 (3)支部委員会 職能委員会 4回 教育委員会 4回 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席 ①下関市医療対策協議会3回 ②新下関市立病院基本構想検討委員会2回 ③下関市立市民病院評価委員会2回 ④下関市高齢者保健福祉推進会議4回 ⑤下関市医療的ケア児支援地域連携会議2回 ⑥下関市医療・介護ネットワーク協議会9回 ⑦認知症下関大会1回 ⑧下関市防災会議1回 ⑨下関海峡マラソン実行委員会1回 ⑩診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬及び保育等の公正価格の大幅改定を求める決起大会1回 (2)広報活動 県協会報「きらめき」への投稿(10月) (3)訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職、特に未加入施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける 未実施

令和5年度 職能委員会活動報告

1 保健師職能委員会

委員長 安池まさみ

1 活動目標	<p>1) 保健師の連携強化及びネットワーク推進 2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3) 会員増加の推進</p>
2 委員会開催	<p>委員会開催：9回 支部保健師職能合同会議：2回</p>
3 活動内容	<p>1) 保健師の連携強化及びネットワーク推進 ①保健師職能集会の開催(R5.6.24) ②保健師職能交流会の開催(R6.3.9) ③保健師職能委員会の開催 ④支部連携としての合同会議の開催(10/14、3/9) R5.10.14 県職能委員6人 支部職能委員7人出席 R6.3.9 県職能委員6人 支部職能委員9人出席 ⑤会報やホームページによる情報発信 ひたむきな保健師掲載 6月、10月、新年号 ホームページによる情報発信(3月)</p> <p>2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 ①研修会の実施：6月24日 助産師との合同研修会 講演 「妊婦と薬」 講師 山口大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤主任 田村美穂氏 ②交流研修会の実施：R6.3.9 講演 「社会構造の変化と保健師活動- 「保健師」のこれまで、今、そしてこれからの考える」 講師 山口県立大学看護栄養学部看護学科 准教授 吉村真理氏</p> <p>3) 会員増加の推進 ①保健師職能集会や研修会の開催 ②リーフレット・会員勧誘チラシの有効活用 ③会報やホームページによる情報発信(ひたむきな保健師掲載 6・10月、新年号) ④自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント(12/2)「自治体保健師との相談会」への協力</p>
4 評価と今後の課題	<p>保健師職能集会については、助産師との合同での研修を看護職連携の一環として実施し、参加者から「職能集会で助産師との合同研修が行えたことはとても意味がある。定期的な合同研修を期待する」等の意見があり、好評であった。</p> <p>また保健師交流研修会を3月9日に開催し、同世代間での交流・意見交換の場を作ることができ、研修では保健師活動の原点を見つめ直すとともに今後の保健師活動の方向性について考えるよい機会となった。</p> <p>保健師職能として、保健師間の連携、さらに看護職連携の促進を図ること、保健師活動の目的、今後の活動について再考することを目的に研修会や交流会が開催できた。</p> <p>会員増加の推進については、昨年改定した保健師リーフレット及び日看協作成のリーフレットの活用について支部役員合同会議で検討し、中学校・高校や養護教諭の勉強会、まちの保健室や親子料理教室、保健師会議等で配布し、幅広い年齢層にPRを行った。</p> <p>今後も更なる連携を図るとともに、改正される保健師活動指針を踏まえ、保健師活動を再考する機会を作っていきたい。</p>

令和5年度保健師職能委員会支部活動報告(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

会員数は3月末現在

支部	会員数(保健師)	職能委員会の保健師数	令和5年度支部活動報告		コロナ5類移行後の支部活動		入会促進に向けた取り組み
			研修・交流会等	まちの保健室	コロナの影響で生じた新たな課題(問題点)・戸惑い等	工夫した活動等	
岩国	62	1	<p>①教育研修 日時：R5.7.15 内容：「認知症患者の身体拘束予防」抑制に頼らない看護を目指そう 講師：岩国医療センター 認知症看護認定看護師 名川ゆかり氏</p> <p>②看護職交流会 日時：R5.9.7 内容：看護師の健康医師への取り組み～健康につながるヨガ～</p> <p>③岩国市医師会コ・メディカル研修会 日時：R5.11.16 内容：多職種研修会Ⅱ「ときどき入院。ほぼ在宅」</p> <p>④3支部合同看護マネジメント研究会 日時：R6.2.3</p>	<p>①日時：R5.10.15 内容：岩国YMCA 保健看護専門学校、岩国まつりで、血管年齢測定や肌年齢測定などを行う。</p> <p>②岩国市地域包括ケア推進大会 日時：R5.11.19 内容：血管年齢測定、骨密度測定、肌年齢測定、物忘れ相談タッチパネルと保健師による健康相談</p>	<p>コロナ以前の活動を経験している役員が少なく、活動を継続していく苦労がある。各役割を自主的な活動に戻していく必要がある。</p>	<p>会議や研修等を集合、対面で行うことが増えているため、集合とオンラインのそれぞれのメリットを有効活用しながら、感染対策を継続しつつ取り組んでいきたい。</p>	<p>・未入会の職員や新規採用職員等に、入会の案内について声をかける。</p> <p>・県看護協会作成の「保健師って知ってる？」リーフレットを、管内中学校の養護教諭に配布。</p>
柳井	38	1	<p>【講演会】 柳井支部特別講演会 ・日時：R5.7.8(土)13時～14時 ・場所：柳井医療センター ・内容：アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について 講師 周東総合病院 緩和ケア認定看護師 用傳恵美氏</p> <p>【3支部合同看護マネジメント研究会】 ・日時：R6.2.3</p>	<p>令和5年度中の開催なし</p>	<p>特になし ※参集による講演会や役員会の開催など、従前の対応に戻ってきている。</p>	<p>体調確認やマスク着用など、一般的な感染症対策を継続</p>	<p>新規採用職員に対して、入会案内を行うことが考えられるが、今年度は所属に新規採用職員がいなかったこと、支部に保健師職能での活動の機会がないことから取り組みは行っていない。</p>

支部	会員数(保健師)	職能委員会の保健師数	令和5年度支部活動報告		コロナ5類移行後の支部活動		入会促進に向けた取り組み
			研修・交流会等	まちの保健室	コロナの影響で生じた新たな課題(問題点)・戸惑い等	工夫した活動等	
周南	54	1	<p>【研修会】 職能研修会 日時：R5.11.25(土)10:00～11:30 参加者：30人 場所：徳山医師会病院 講師：堀家幸美氏 内容：「アロマセラピーを生活に取り入れてみませんか!!」アロマスプレーづくり</p>	<p>①周南市 日時：R5.9.2(土)13:00～14:00 計213人 場所：学び・交流プラザ(市の「認知症講演会」にあわせて実施) 内容：血圧測定、健康相談(がん検診)リーフレット・グッズ配布 体脂肪測定</p> <p>②下松市 日時：R5.12.3(日)10:00～14:30 計123人 場所：キラル(「下松市福祉健康まつり」にあわせて実施) 市健康増進課のブースに市健康増進課・明治安田生命・看護協会 3共催 内容：健康増進課)骨密度測定、肌年齢測定、脳機能チェック 看護協会)血圧測定、体脂肪測定、健康相談、グッズ・チラシ配布 明治安田生命)健康チェック</p>	各施設での罹患者・家族感染等による、マンパワー不足によるまちの保健室活動の継続	コロナ前の2カ月に1回の商業施設での開催を見直し、各市イベント・祭り等に抱き合わせでまちの保健室活動を実施することで集約しやすく、広報活動も考えイベント・祭りでの活動にした。また、各施設のマンパワー不足を考え、担当者人数・活動時間を縮小するなどしてまちの保健室活動を開催した。	
防府	40	1	<p>教育研修会(R6.2.10) 「急変前の状態を言葉にできる」 ※教育委員職能委員合同参加者 22人</p>	<p>・愛情防府フリーマーケット(R5.10.21) ・勝間小学校PTAバザー(R5.11.18) ・イオン防府店(R6.3.2)</p> <p>※「保健師」って知ってる?のリーフレット配布</p>	研修会の開催方法や委員の役割分担について、共有が難しく負担が偏ってしまった。(以前の方法が分からない委員が多くなった)	コロナ禍での工夫から、ハイブリッド型研修が継続され、研修会へ参加しやすい体制ができた。	研修会にて、防府支部インスタ紹介のチラシを配布。
山口	95	1	<p>R5.11.16(木) 山口生活習慣病予防研究会講演会に出席 テーマ：「生活習慣に起因する慢性肝疾患～チーム医療での診療の取り組み～」 講師：済生会山口総合病院消化器内科部長 日高勲氏</p>	<p>R5.11.19(日) 平川地域まつりで実施 内容：血圧測定、体脂肪測定、健康相談</p>	感染症対策が個人に委ねられる中、未だ様々な感染症が流行している状況。今後もイベント等実施する際は、感染症の動向に注意し活動していく必要がある。	昨年度、中高生向きに、看護職(保・助含む)に就くための進路紹介動画を作成看護協会のHPで周知できないか検討中	SNSを活用による活動内容の配信を検討中

支部	会員数(保健師)	職能委員会の保健師数	令和5年度支部活動報告		コロナ5類移行後の支部活動		入会促進に向けた取り組み
			研修・交流会等	まちの保健室	コロナの影響で生じた新たな課題(問題点)・戸惑い等	工夫した活動等	
宇部	50	1	【研修会】 令和5年度 宇部支部三職能合同研修会 日時：R5.12.18(月)午後6時から午後7時まで 内容：「香りから豊かにする衣・食・住～アロマセラピーのすすめ～」 講師：山口宇部医療センター理学療法士 石光雄太氏	対面開催は中止。 フジグランの健康ブースにパンフレット・マスク等のセットを設置	コロナの影響で生じた新たな課題(問題点)・戸惑い等 5類移行後も複数の医療機関でクラスターが発生しているため、看護職を集めた研修会やイベントの開催の是非や、感染予防対策の程度等を検討していく必要がある。 コロナ禍に入職した保健師については、看護協会保健師職能の活動を知らない人が多い。	工夫した活動等 今年度は、コロナ禍で中止となっていた研修会を再開させることに注力した。次年度以降、研修会の開催方式やまちの保健室の対面開催の再開等について検討していく。	入会促進に向けた取り組み ・職場における声かけ。 ・非会員にも活動を知ってもらうために研修会是非会員も対象とした。加えて、会員へはインセンティブを付与した。
小野田	33	1	研修会・交流会の開催はなし 教育委員会が主催するオンライン研修会への参加と勲奨	市が主催する「SOS健康フェスタ」でまちの保健室を実施 健康フェスタ来場者数：2,300人 まちの保健室ブースの来場者数：116人 内容：血圧測定、体脂肪測定、AGEs測定、健康相談	コロナの影響で、職能としての活動がない状況が続き、以前の活動を知らないまま委員及び職能としての活動をしていかなければならぬことに困難を感じる。	コロナ禍により促進されたオンライン化を活用した事業等の実施	(看護の日に合わせて看護職のPR(各施設でPRグッズを配布)) 折にふれての声掛け
長門	15	1	R5.10.4研修会開催「糖尿病看護について」 R6.2.29看護研究発表会開催(オンライン) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会 長門市在宅医療介護連携推進事業研修会 行政保健師については協会員に限らず市及び県の保健師が参加し毎月定例調整会議を開催し事例検討、災害時保健活動等の共通するテーマで研修・交流を行っている。	10月～11月各地区ふるさと祭りにおいて開催 保健師職能の出務はなし	基本的な感染対策を実施しながら、研修会等は対面で実施している。	徐々にではあるが、対面での開催が増えてきている。今後は交流活動についても検討し、会員同士の情報交換が増えるような工夫ができると良いのでは。	看護協会の活動報告、研修会・交流会への参加勲奨実施
萩	26	1	【在宅療養支援関係者研修・交流会】 日時：R5.11.9(木) 内容：話題提供(3施設)、グループワーク、全体共有 【三職能・教育委員合同研修会】 日時：R5.12.16(土) 内容：医療安全について 講師：山口県立総合医療センターリスクマネージャー 米原美奈子氏 【支部研修会(涉外)】 日時：R6.3.10(日) 内容：ピラティス 講師：戸川勝也氏	対面で定例・随時開催(10回/年) 定例：萩市立図書館 随時：萩ふるさとまつり、イベント会場 実施 かんごちゃん(着ぐるみ)でPR活動や学生対象に進路紹介を併せて実施 ※保健師職能はR5.10.14(定例)とR5.11.12(萩ふるさとまつり)に出務	特になし。	会議、研修会は感染予防対策を講じた上で参集開催。今年度は会員から「集まって話したい」と参集希望が多かった。 研修会は5類移行後も感染状況や講師(遠方)の都合、会員の希望によって参集型かオンラインか使い分けて企画している。(昨年度オンライン開催したところ、子育て世代から好評)	支部の研修会は会員・非会員・多職種に参加対象の門戸を広げ、協会活動の理解促進や入会促進につなげている。

支部	会員数(保健師)	職能委員会の保健師数	令和5年度支部活動報告		コロナ5類移行後の支部活動		入会促進に向けた取り組み
			研修・交流会等	まちの保健室	コロナの影響で生じた新たな課題(問題点)・戸惑い等	工夫した活動等	
下関	47	1	<p>【三職能合同研修会】 ▶日時：R5.6.6(火) 講師：済生会下関総合病院 緩和ケア認定看護師 柴田敏子氏 演題：グリーンケア～死に直面した本人と家族・大切な人を亡くした家族に、あなたはどのように関わることができますか～ ▶日時：R5.9.28(木) 講師：下関市社会福祉協議会 下関市設置手話通訳者 新内和美氏 演題：聴覚障害者に対する医療場面での対応(手話について)</p>	保健師職能の出務無し	研修については来館時健康チェック表を用いて対応できており、コロナ以前と同等の活動ができています。		メールを介して入会勸奨を実施

2 助産師職能委員会

委員長 塩道敦子

<p>1 活動目標</p>	<p>1)周産期医療の現状と課題の把握 2)助産実践能力の向上 3)母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用 4)災害時の対応 5)広報活動 6)3職能、4委員会との連携強化</p>
<p>2 委員会開催</p>	<p>1)職能委員会 6回(R5.4.21、7.6、9.1、10.20、12.8、R6.2.9) 2)支部職能委員との合同会議 2回(R5.10月・R6.2月)</p>
<p>3 活動内容</p>	<p>1)周産期医療の現状と課題の把握 職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出 2)助産実践能力の向上 (1)新人助産師研修 6回 受講者：新人助産師13人 (2)中堅助産師研修 4回 受講者：75人 (3)CLoCMiP®の導入・活用の推進 3)母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用 ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進 8月出向システム会議参加、出向支援研修参加 4)災害時の対応 周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてのタイムリーな 情報提供、情報交換 5)広報活動 (1)イベント等での助産師の普及活動 ①看護の日・国際助産師の日 ②いいお産の日 (2)ホームページ等へ記事投稿(10月きらめき投稿) 6)3職能、4委員会との連携強化 (1)母子のための地域包括ケアシステムの構築に向けてのネットワークの構築(6月助産 師・保健師職能合同研修企画・実施) (2)地域における看護力強化にむけた連携推進のための検討会への参加 (3)女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握</p>
<p>4 評価と今後の課題</p>	<p>委員会(職能委員会・職能集会)と新人研修会は予定通り実施できた。 支部合同職能委員会においては、周産期医療の現状と課題の把握とともに、災害体制、 助産師の能力発揮について検討した。また、母子も含めた全世代対応の地域包括ケアシ ステムの推進のために、3種4職能と引き続き連携を図っていきたい。</p>

令和5年度 助産師職能委員会活動報告

委員長 塩道敦子

母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム構築のために下記の6つの活動を行った。

【令和5年度助産師職能委員会活動目標】

- 1) 周産期医療の現状と課題の把握
- 2) 助産実践能力の向上
- 3) 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用
- 4) 災害時の対応
- 5) 広報活動
- 6) 3職能、4委員会との連携強化

1 令和5年度助産師職能集会報告

令和5年6月24日（土）助産師職能集会を開催した。令和4年度山口県職能委員会事業報告、助産師実践能力向上研修報告と、令和5年度日本看護協会通常総会、山口県看護協会助産師職能委員会事業計画について報告をし、情報共有を行った。研修会は、助産師・保健師職能合同研修会として、田村美穂氏（山口大学医学部附属病院 薬剤部薬剤主任）から「妊娠と薬」をテーマに開催した。助産師27人、保健師55人の参加があった。交流会では、『今どきの妊婦あるある』『助産師・保健師それぞれに期待すること』のテーマで情報交換を行った。

2 助産実践能力の向上

- 1) 新人助産師研修（CLoCMiP[®] 研修対象の公開講座を実施）

①目的：助産学教育からの継続教育により、新人助産師の臨床助産実践能力の向上および助産師の人材育成を図る。

- ②開講式（令和5年7月29日）

新人助産師12人を迎えて1年間の研修の開講式を開催した。



③研修会内容と参加状況

	開催月日	科目	講師	新人 助産師数	公開講座受講者数				受講者数
					助産師	看護師	その他	合計	
第1回	令和5年 7月29日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 新生児のフィジカルアセスメント	山口大学医学部附属病院 小児科医師 松隈知恵氏	12	15	9	0	24	36
	7月29日	「公開講座」 新生児の看護	山口大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師 三木砂織氏	12	15	9	0	24	36
第2回	8月19日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 緊急時の対応	山口大学医学部附属病院 産婦人科医師 前川亮氏	14	8	1	0	9	23
	8月19日	「新人助産師対象」 緊急時対応の実際	山口大学医学部附属病院 産婦人科医師 前川亮氏	14	—	—	—	—	14
第3回	9月30日	「公開講座」 母乳哺育支援	山口県助産師会 会長 藤田房子氏	13	7	1	0	8	21
第4回	11月11日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 CTGモニタリング判読	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター センター長 佐世正勝氏	13	13	1	0	14	27
	11月11日	「新人助産師対象」 分娩時のCTG(演習)	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター センター長 佐世正勝氏	13	—	—	—	—	13
第5回	令和6年 1月13日	「新人助産師対象」 臨床病態生理の基本	山口大学医学部附属病院 産婦人科医師 品川征大氏	13	—	—	—	—	13
	令和6年 1月13日	CLOCMiPⅢ認証研修 妊娠と糖尿病	山口大学医学部附属病院 産婦人科医師 品川征大氏	13	8	1	0	9	22
第6回	令和6年 2月17日	事例検討・発表会 「心に残った場面」	講評：山口大学大学院 医学系研究科保健学専攻 准教授 亀崎明子氏	13	—	—	—	—	13
延べ人数				130	66	22	0	88	218

新人助産師研修の内容は、新卒助産師研修ガイド、CLOCMiP®を参考に企画した。対面学習での利点を生かし、講師との相互コミュニケーションや第2回、第3回、第4回はシミュレーション・実技の機会を設けた。第6回の事例発表会は、受講生の「心に残った場面」を1症例挙げ、症例検討形式でまとめたものを発表した。4題ずつ発表した後に、各発表内容に対して意見交換の時間を設け、リフレクションを行う形式とした。講師より1人1人の発表に対し、丁寧な講評を頂き、自分自身の看護観・助産観について振り返る大変良い機会になった。ひとつの事例に対し皆が真剣に向き合い、13例の症例を体験できた貴重な研修会であり、1年のまとめとなる有意義な機会となった。

新人受講生アンケートにおいて、「講義内容の期待」「内容の理解」「今後の活用」の項目が、全体を通して満足80%～90%、まあ満足10～20%と回答を得た。動画や実技、講師の臨床からの知見に対して、イメージしやすい、わかりやすいと好評価であった。

4回分は公開講座とし、産科病棟に勤務・NICU・GCU勤務している看護師の参加や、CLOCMiP®認証を受ける中堅助産師の参加も可能に企画した。延べ88人の参加があった。受講者のアンケートにおいては、どの研修においても、受講動機（複数回答）は、「知識を得るため」「スキルアップのため」「上司・同僚のすすめ」「CLOCMiP®レベルⅢ認証のため」の順に多かった。今年度は、「上司・同僚のすすめ」が50%あり、公開講座に対する認知度、期待度を知ることができた。実務経験年数においても、1～5年、11～20年、20年以上の参加と幅広くあり、各個人のラダーにあわせて研修を選択し、ブラッシュアップ研修に期待するニーズがあることがわかった。

④閉講式

閉講式では、「6回にわたる研修を通し、それぞれ学びを深め、実践に活かすことができた。ここでできた仲間との交流を通して、より助産師として働くことへの意欲に繋げることができた。研修で得た知識を再度確認し、実践に活かしていく。」と力強い決意を聞くことができた。



2)中堅助産師研修

①目的：山口県助産実践能力向上研修、およびアドバンス助産師育成のため CLoCMiP® 研修対象を中心に実施した。

②研修会内容と参加状況

CLoCMiP® 研修と各支部助産師職能委員の意見を参考に、第3回、第4回は今年度初めて企画した。受講者のアンケートにおいては、実務経験年数1～5年、6～10年、11～20年、20年以上の参加が満遍なくみられた。受講動機（複数回答）は、「知識を得るため」「スキルアップのため」「CLoCMiP®レベルⅢ認証のため」が大半を占めていた。第3回、第4回の初企画に関しては、「具体的な実践に繋がる」「深く遺伝看護を考える機会となり、学習を継続したい」との感想があった。今後も、受講者のニーズとラダーに合わせた研修を企画する。



	開催月日	時間	科目	講師	公開講座受講者数			
					助産師	看護師	その他	合計
第1回	令和5年 10月28日	9:30~12:00	CLoCMiPⅢ認証研修 臨床病態生理	山口大学医学部附属病院 産婦人科医師 村田晋氏	17	0	0	17
第2回	10月28日	13:00~15:00	CLoCMiPⅢ認証研修 助産実践に活かす倫理	山口大学大学院医学系研究科 保健学領域 教授 伊東美佐江氏	17	0	0	17
第3回	11月25日	10:00~12:00	CLoCMiPⅢ認証研修 母体の感染	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター センター長 佐世正勝氏	21	2	0	23
第4回	令和6年 1月27日	13:30~15:00	CLoCMiPⅢ認証研修 遺伝看護(意思決定支援)	山口大学大学院医学系研究科 准教授 末廣寛氏	16	2	0	18
延べ人数					71	4	0	75

3 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向支援導入事業の活用

1) 助産師出向支援導入事業の活用

8月助産師出向支援導入事業協議会に参加、令和6年2月の出向支援研修会に参画した。研修会では、行政、医療の立場から産後ケア事業について意見交換した。

2) 支部助産師職能との情報交換

10月と令和6年2月の2回、支部助産師職能合同会議を開催し、周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてのタイムリーな情報提供、情報交換を行った。会議の内容を職能委員長会で提示した。

4 広報活動

ホームページに、研修会毎の様子を投稿した。10月のきらめきに職能活動報告を投稿した。

5 3職能、4委員会との連携強化

母子のための地域包括ケアシステムの構築に向け、ネットワークの構築を目的に助産師・保健師職能合同研修企画・実施した。また、山口県母性衛生学会理事会に産後ケア事業についての現状について提示した。

令和5年度 看護師職能委員会 I（病院領域）活動報告

委員長 池田早苗

令和5年度、看護師職能 I 委員会では、看護実践力の向上と地域連携の強化を目指し、以下の活動目標を掲げ活動を行った。

令和5年度 活動目標

- 1 看護実践能力の向上
- 2 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携
- 3 支部看護師職能委員との連携強化
- 4 広報活動・会員増加の推進
- 5 日本看護協会との連携

1 看護実践能力向上

今年度は看護実践能力の向上を目標の中心とし、JNA ラダー導入推進に向けて継続的に取り組んできた。昨年度、JNA ラダー導入の進捗状況の調査を実施し、その結果をもとに研修会を開催した。

今年度は、「JNA ラダー版クリニカルラダー作成・導入のための講習会」を2回に分けて開催することとし、支援希望施設を募集した。その結果、多くの応募があり、先着5施設を支援施設に決定した。訪問看護からの希望もあり、全般的に JNA ラダー導入に対する意識が高まっていることが感じられた。

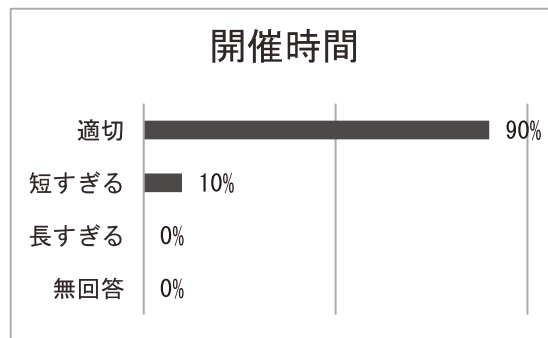
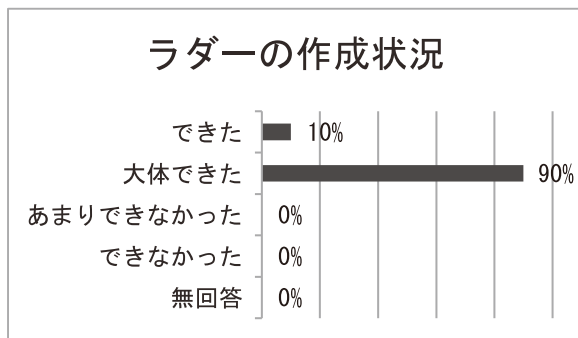
1) 日時 R5.12.21（木） 13：00～16：00

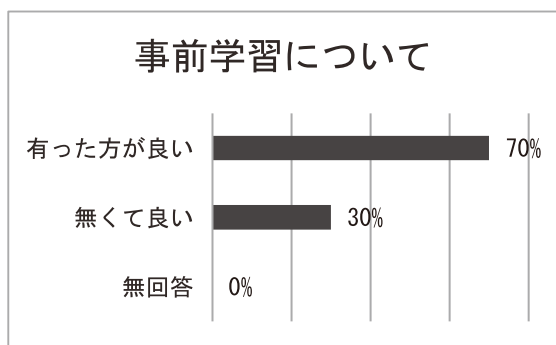
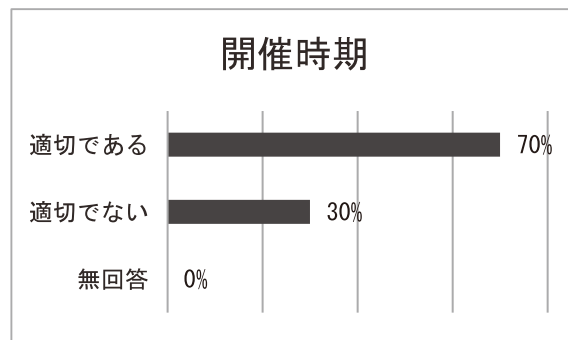
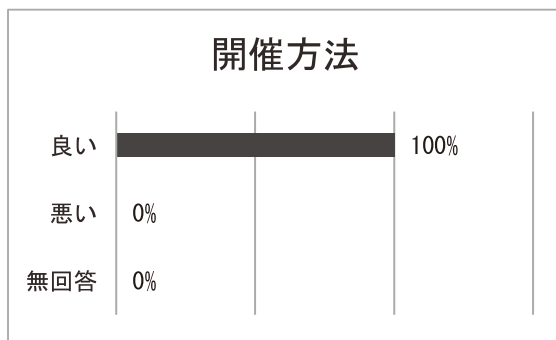
R6.3.6（水） 10：00～16：00

2) 参加者 5施設 11人 ファシリテーター 6人（総括1人含む）

3) 講習会後のアンケート結果

講習会終了後、参加施設5施設すべてがラダーの作成が「できた」または「大体できた」という回答であった。





開催時間・開催方法においては概ね「よかった」との回答であった。しかし、開催時期は1回目が12月、2回目が3月であったことから、「期間が短い」という意見や、新年度からの運用を考えると、全体的に早い時期での開催が良かったとの意見があった。また、事前学習の有無は、有った方が良かったという意見が70%であった。その他、ラダーの導入を行う機会となったと言う意見や今後も定期的にやって欲しいという意見もあった。

また、ファシリテーターにおいては、他の施設との情報共有と情報交換の機会となり、自施設のラダーのブラッシュアップに繋げることができたという意見があった。

4) 評価と今後の課題

今回の「JNA ラダー版クリニカルラダー作成・導入のための講習会」は、支援希望施設でほぼ完成することできた。日常の煩雑な業務の中で、ラダー導入に取り組む必要性を感じながらも、目の前の業務に追われていることは、どの施設も同じであった。今回の講習会がラダー導入に向けての良い機会となったと考える。支援希望施設の中には病院だけでなく、訪問看護や介護施設などもあり、JNA ラダーの導入に向けての意識が広がったと考える。人員の関係で、先着5施設としたが、もう少し多くの施設への支援を行うことができるとより一層良かった。事前学習においては、令和2年度講習会開催時には事前学習をオンデマンドで行っていた。今年度の講習会では個別支援への時間を充実したいと考え、事前学習は行わず、個別支援を開始した。しかし、JNA ラダーの導入の経緯や目的などの再確認において、事前学習は必要であったと思う。

また、ファシリテーターにおいては、自施設のラダーについてブラッシュアップする機会となったことや、他施設の取り組みを知ることで学びとなったという意見があり、両者とも成長の機会となった。

日本看護協会から「看護職の生涯学習ガイドライン」や日本看護サミットの開催において生涯学習への取り組みについて発信された。今後は、個々の看護師のキャリアアップに向けた取り組みについても周知していく必要がある。

2 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携

看護師職能Ⅱ委員との合同会議を5回開催し、病院領域では知ることができない情報を収集することができた。特にコロナ禍においての訪問看護や後方支援病院、介護施設での活動について学ぶ機会となった。これは、病院領域から地域へ繋ぐことの問題点の抽出となった。その結果、看護情報提供書の運用方法についての情報共有と、見直しへと繋ぐことができた。

また、新型コロナウイルス感染症が5類へ変更後、面会制限の緩和や病院訪問の再開など施設によって対応が異なっている現状を把握することができた。感染予防を行いながら、退院調整会議の再開など「顔の見える関係」を促進することの重要性について話し合うことができた。

今後は在宅ケア推進委員会との連携を図っていく予定である。

3 支部看護師職能委員との連携強化

支部職能委員との合同会議を2回（11月・3月）開催した。会議の中では、日本看護協会の事業計画や山口県看護協会看護師職能Ⅰ・Ⅱの活動方針・活動報告、各支部の職能委員会の活動報告が行われた。

昨年度までは、コロナ禍においてまちの保健室の活動が十分にできていなかったとの意見があった。今年度から徐々に再開している支部が多くみられた。しかし、以前のような活動ができなくなっている現状から、まちの保健室の運用方法についての話し合いで活発な意見交換ができた。高齢者を対象とした運用を具体的に考え、方向性について意見交換できた。

4 広報活動・会員増加の推進

看護師職能集会（看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同）

テーマ「すごい！さすが！すばらしい！～今日からあなたもほめる達人」

開催日時：R5.6.23（金）13：00～15：00

講師：山口そうごう自動車学校 田中秀明氏・橘 英樹氏

参加人数：41人

評価：開催日が平日であったが多くの参加者が見られた。休日の開催であれば、更に多くの参加者が望めたと思われる。講義内容は楽しく、始終笑顔で受講することができた。今後も、多くの受講者が参加できるように企画を考えていく。

4 看護師職能委員会Ⅱ

委員長 露繁巧江

1 活動目標	<p>1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3)3職能4委員会の連携推進 4)広報活動・会員増加の推進</p>
2 委員会開催	<p>1)職能委員会9回開催 2)看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議5回開催</p>
3 活動内容	<p>1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 介護職員等の医療的知識習得(認定看護師出前講座)関係研修 開催 実施期間：R5年9月～12月 ・実施施設数：16施設(老健・特養)</p> <p>2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 (1)看護師職能Ⅱ交流会開催：R6.2.3(土) 参加者32人 テーマ：「尊厳ある施設での看取り」 内容：事例発表・グループワーク 事例発表講師：特別養護老人ホーム自由の杜 森本香子氏 (2)全国職能委員長会議出席 1回(7月) (3)地区別看護師職能Ⅱ委員長会議出席1回(11月) (4)看護Ⅱ領域における看護管理者のマネジメント向上に関する情報収集・課題発見 アンケート調査の検討(令和6年度看護Ⅱ領域の看護管理者対象に調査予定) (5)看護領域におけるBCP(事業継続計画)作成・改善における情報集・課題発見 BCP作成についての課題共有と今後の活用方法について意見交換</p> <p>3)3職能4委員会の連携推進 (1)支部看護師職能委員との合同会議：2回開催 R5年11月・R6年3月 (2)看護師職能委員会Ⅰとの連携：看護師職能Ⅰとの合同会議5回開催</p> <p>4)広報活動・会員増加の推進 (1)看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 開催：R5.6.23(金) 参加者41人 テーマ：「すごい!さすが!すばらしい!～今日からあなたもほめる達人～」 講師：山口そうごう自動車学校 田中秀明氏・橋 英樹氏 (2)会報「きらめき」による情報発信：2023年156号 活動紹介</p>
4 評価と今後の課題	<p>1)認定看護師出前講座は令和6年度も16施設を目標に開催していく。 2)看護Ⅱ領域における看護管理者の実態調査を行い課題発見に繋げる。 3)看護師職能Ⅰ・支部看護師職能委員・在宅領域の関係職と情報共有を図り、地域における看護活動を明確にしていく。</p>

令和5年度 看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）活動報告

委員長 露繁巧江

介護職員等の医療的知識習得（認定看護師出前講座）関係研修の取り組み

1 本事業の目的

高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスを提供するため、医療的知識の習得に向けた認定看護師出前講座による研修を企画・立案・実施し、介護施設で働く看護職員等の資質向上を推進する。

2 対象者

介護施設の看護職員、介護職員、およびその他の職員

3 研修内容

医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスが提供できるよう、看取りケア、褥瘡ケア、摂食嚥下等の看護技術・知識の習得に資する内容とする。

4 研修実施日

R5.9.12～R5.12.1までの16日

5 実施内容

5-1 講座開催に向けての準備

1) 実施施設の選定

(1) 講座開催に向けて意向調査を実施

① 調査施設：老人保健施設64・老人福祉施設138（計202施設）

② 調査期間：R5.5.29～R5.6.16

③ 調査結果：41施設（老人保健施設8・老人福祉施設33）で開催を希望

(2) 選定基準を設け16施設を決定

選定基準は以下の4点である

① 開催地域の均一化を図るため県内各地域から選定する。

② これまでに実施していない施設を優先した。

③ 施設が希望する開催時間、開催曜日を考慮した。

④ 施設が希望する講座の内容について考慮した。



2) 認定看護師の選定

(1) 選定時期

開催施設決定後に、具体的な講座内容について施設と協議し、施設側が求めている専門分野の認定看護師16人を選定した。

(2) 選定方法

認定看護師16人の選定は、講座開催施設の地区支部から選出し、講座終了後も施設と関わりがもてるように配慮した。ただし、施設が希望した分野の認定看護師が地区支部にいない場合は、隣接の地区支部から選出した。

(3) 開催日の調整

認定看護師、実施施設、看護師職能Ⅱ委員、看護協会事務局4者の日程を調整し開催日を決定した。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

開催施設の感染防止対策を講じた上で開催した。

5-2 講座開催実績

1) 開催実績の概要

16施設のうち2施設は感染症拡大のため日程を変更したが、予定どおり実施できた。講座方法は、全て対面で行った。実績の一覧は以下（表1）である。

（表1）令和5年度認定看護師出前講座開催一覧

地域	施設名	講座内容	開催日	時間	参加人数
防府	特別養護老人ホームフィラージュ開出	看取り	9月12日(火)	13:30~14:30	39人
下松	特別養護老人ホーム星てらす	摂食・嚥下	9月12日(火)	18:30~19:30	12人
岩国	介護老人保健施設あさぎりの郷	感染	9月13日(水)	13:00~14:30	15人
下松	介護老人保健施設ふくしの里	急変対応	9月22日(金)	14:00~15:00	13人
防府	特別養護老人ホーム自由の杜	急変対応	9月28日(木)	13:30~14:30	31人
周南	周南市介護老人保健施設ゆめ風車	看取り	9月28日(木)	16:30~17:30	17人
田布施	特別養護老人ホームたぶせ苑	感染	10月6日(金)	17:30~18:30	20人
下関	特別養護老人ホーム慈公園	摂食・嚥下	10月18日(水)	14:30~15:30	24人
防府	老人保健施設はくあい	急変対応	10月20日(金)	15:00~16:00	26人
阿武	特別養護老人ホーム恵寿苑	急変対応	10月27日(金)	18:00~19:00	16人
下関	特別養護老人ホーム富任荘	摂食・嚥下	11月8日(水)	13:30~14:30	25人
岩国	老人保健施設くが 特別養護老人ホーム玖珂苑	感染	11月10日(金)	18:45~19:45	47人
美祢	特別養護老人ホームみのり園	看取り	11月15日(水)	18:00~19:00	23人
山口	特別養護老人ホーム賀宝の里白松苑	褥瘡	11月21日(火)	18:30~19:30	27人
山口	特別養護老人ホームオ・サーバaioi	褥瘡	11月29日(水)	14:00~15:00	17人
岩国	特別養護老人ホーム錦苑	摂食・嚥下	12月1日(金)	14:30~16:00	13人

2) 受講者について（表2・図1参照） 表2 参加16施設の受講者数と職種内訳

(1) 受講者人数 合計365人

(2) 受講者職種内訳と割合

介護職 197人 (54%)

看護職 89人 (24%)

その他（介護支援専門員・生活相談員・リハビリ職・栄養士等）(22%)

受講者数	職種内訳(人)		
	介護	看護	その他
合計	197	89	79
365	197	89	79

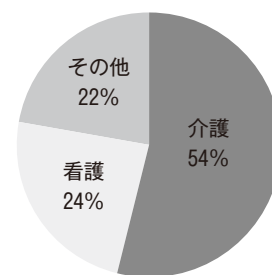


図1 令和5年度認定看護師出前講座受講者の職種別内訳

3) 講座内容（講座項目・施設数）

急変時の対応 (4)・摂食嚥下 (4)・看取り (3)・感染 (3)・褥瘡 (2)

6 講座のアンケート調査結果

出前講座受講生、出前講座実施施設、講師（認定看護師）、看護師職能委員を対象にアンケート調査を実施した。

6-1 受講者アンケート結果

1) 内容の満足度：「満足」「やや満足」の回答が99.4%であった。

2) 内容の理解度：「理解できた」「やや理解できた」の回答が98.8%であった。

3) 実践へ活用：「できそう」「ややできそう」の回答が99.1%であった。

4) 開催時間：「適切である」「やや適切である」の回答が98.8%であった。

5) 受講者の感想（抜粋）

- ・急変時の対応に自信がもてるようになった。
- ・摂食嚥下についての演習もあったので、今の自分の介助を見直すことができた。
- ・看取りについて専門の方の話を聞くことができ参考になった。
- ・今までの感染対策の間違いに気づけたので良かった。
- ・看取りについて老健に合わせた内容だったので今後活かせると思った。

6-2 開設施設アンケート結果

1) 開設施設の感想：

好意的な感想が多かった。感想内容の一部抜粋を以下に記す。

- ・看護協会のスタッフとも連携が図れ、研修がスムーズに行えた。
- ・現場で働いている看護師やSTから話が聞ける機会があることがとても良いことだと思う。
- ・なかには「もう少し具体的なことを聞きたかった」「横文字や略語が多かったのももう少し平たい言葉で話して欲しかった」などの声もありましたが、事前に施設の職員配置やどんなことに困っているかなど、細かくすり合わせを行うことで解消できると思いました。

2) 開設施設からの要望：

開催の継続や講座方法、講座項目についての要望があった。要望内容を一部抜粋、または感想の要約を以下に記す。

- ・年に1度は開催して頂きたい。
- ・実技を含めた出前講座があると有難い（マウスケア 口腔マッサージ 食事介助等）
- ・委託事業だけでなく施設が希望した時に認定看護師を紹介して下さると、頻回に開催できる。

6-3 講師（認定看護師）のアンケート結果

1) 日程・講義時間・資料準備について：概ね問題ないとの回答であった。

2) 今後の協力について：全員協力できるとの回答であった。

3) 意見：課題と考えられた意見を抜粋し記載する。

- ・施設側のニーズがもう少し細かく把握できるといいかなと思う。60分で話せる内容には限界があるので、テーマを看護協会決めて、その中から施設側が選んで頂くと、施設側の希望と話す側にマッチングができる。

6-4 看護師職能委員会のアンケート結果（気づき）

日程・開催時間・準備等の運営について、概ね問題なく遂行できたとの回答であった。

7 活動の評価・課題

7-1 活動の評価

委員の振り返りを集約すると、受講者・施設・認定看護師のアンケート結果からも本活動の意義や目的は果たせたという評価であった。

本活動を継続していくには、施設側の要望を聞くことも大切だが、無理のない開催にしていくことが必要である。講義時間が1時間では足りない、回数を増やして欲しいという意見もあり、前向きな要望があることは好ましいことではあるが、認定看護師の時間や出務する職能委員の負担、県からの予算等を考慮すると、今の運営が妥当であるとの意見であった。ただし、講義内容によって1時間以上の時間を必要とする時（例えば、摂食嚥下で食事介助方法を講義に入れるなど）は施設と認定看護師が協議した上で延長することは差し支えないものとし、講義内容が有益なものとなるよう、原則の時間を守りつつも柔軟に対応していくということで合意に至った。

また、本活動を円滑にしていくためには、施設と認定看護師（受ける側と提供する側）のマッチングが重要となってくるとの意見があった。具体的に示すと、事前に何を学びたいか、困っていること

は何かといった施設側の要望が認定看護師に届き、それを踏まえた内容を講義に入れてもらう、といったような流れを形づくるということである。事例にはこの形が上手くいった講座もあったが、若干のズレが生じたところもあった。今後は、看護協会（事務局や職能委員）が双方の間に入り、円滑につないでいくことも役割であることを意識して動いていく。

対象施設については、老健と特養の2つの施設で行っているが、有料老人ホームの施設数が増加しているといった背景を考えると、有料老人ホームも対象としてはどうかとの意見があった。本事業の「高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスを提供する」という目的に照らし合わせて考えてみると、施設＝老健・特養という画一的な捉え方ではなく、もっと生活に密着した社会資源（施設）はないか、という暮らし目線で見直すことができた。県委託事業であるため、有料老人ホームが対象となり得るかはまた別の協議となるが、介護保険の関連施設として有料老人ホームも視野に入れていくという気づきとなった。

7-2 今後の課題

上記、評価を踏まえ今後の課題は以下4点抽出された。

- 1) 開催時期・時間は令和5年度を踏襲し、本事業が無理なく実施できる継続可能な体制で行う。
- 2) 講義時間は60分を原則するが、施設と認定看護師の協議の上であれば延長することは差し支えないようにし、講義内容が有益なものとなるよう柔軟に対応していく。
- 3) 施設が希望している研修内容を実施するために、研修主催者は施設と認定看護師の橋わたしをし、効果のあがる研修を企画していくことが必要である。
- 4) 事業の対象施設（老健と特養）に有料老人ホームの追加についても検討していく。

出前講座認定看護師 派遣協力施設

岩国市医療センター医師会病院、国立病院機構柳井医療センター、周東総合病院、光市立光総合病院、徳山中央病院、山口県立総合医療センター、山口赤十字病院、宇部興産中央病院、長門総合病院、下関市立市民病院 計10施設にご協力をいただいた。

令和5年度 常任委員会活動報告

1 労働環境支援委員会活動報告

委員長 杉山洋子

1 活動目標	<p>1)働き続けられる職場づくりを推進する 2)看護職の確保・定着等について検討する</p>
2 委員会開催	4回開催(7/6、9/22、12/14、3/8)
3 活動内容	<p>1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会の開催 3回 (1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会① 開催：R5.7.11(火)7.12(水) 参加者：中間管理職 計27人(師長8人、副師長・主任・係長19人) (2)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会フォローアップ② 開催：R6.2.15 参加者：20人(ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会①参加者) (3)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して研修会 ※山口労働局雇用環境均等室・働く方サポートオフィス山口との共催 開催：R6.1.18 参加者：34人(看護管理者)</p> <p>2)セカンドキャリア支援事業 (1)セカンドキャリア支援研修会の開催 1回 開催：R5.12.23(土) 10:00～12:30 ※一般教育研修への参加 未就業者：0人 内容：「自分らしく輝き続けるために！」～キャリアをいかし豊かな人生設計を考える～ (2)「セカンドキャリア人材バンク」の設置運用 セカンドキャリア人材バンク「きらめきナース」の登録9人(累計21人) セカンドキャリア人材活用マッチング：再就業1人、イベント等支援6人</p> <p>3)人材確保・定着にむけた実態調査の検討 令和6年度 実態調査に向け内容の検討</p>
4 評価と今後の課題	<p>1)働き続けられる職場づくりの推進として、ヘルシーワークプレイスの研修会を中間管理職対象に2回、看護管理者を対象に1回行った。(1)中間管理職対象においては、本年度はフォローアップ研修として、実践報告をする場を設け、他施設の取り組みを共有することができた。(2)管理職対象として、「労務管理上の看護職の働き方」「夜勤交代制勤務を正循環で行うための取り組み」の講義・実践報告の後、夜勤交代制勤務等働き方の課題や今後可能な取り組みについて意見交換をすることができた。次年度は、実習指導者やリーダーナース等中堅スタッフを対象とした研修の検討を行っていく。</p> <p>2)セカンドキャリア世代の活躍推進について、12月23日にセカンドキャリア支援研修会を教育研修と共同で実施したが、未就業者の参加は0人であった。 セカンドキャリア人材バンクの登録者は9人であった。 セカンドキャリア世代の活躍推進をしている施設の現状を知り、働き方についての意向を知ることを目的とした、実態調査等について検討を行いたい。</p>

2 看護制度委員会活動報告

委員長 山中聖美

1 活動目標	<p>1) 安定的な質を確保した看護の提供のために、看護専門領域の資格取得者の地域貢献への活動について連携強化を図る。</p> <p>2) 准看護師が継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるような企画・運営を行う。</p> <p>3) 看護基礎教育の4年制化に向けての取り組みを進める。</p>
2 委員会開催	6回 (4/25、6/14、7/28、10/5、12/5、3/5)
3 活動内容	<p>1) 安定的な質を確保した看護の提供のために、看護専門領域の資格取得者の地域貢献への活動について連携強化を図る。</p> <p>(1) 県内における看護専門領域の資格取得者の活動について実態把握</p> <p>(2) 交流会を開催し、看護専門領域の資格取得者が地域貢献活動を行う上での課題等を把握する。</p> <p>2) 准看護師が継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるような企画・運営を行う。</p> <p>(1) 令和4年度の研修会アンケート結果をもとに、「准看護師スキルアップ研修会」の企画を行う。</p> <p>3) 看護師基礎教育4年制化の意義や必要性を浸透させ、実現への機運を高めるための企画・運営を行う。</p>
4 評価と今後の課題	<p>1) について 県の委託事業である「認定看護師等活躍推進事業検討会」と連携し、看護専門領域の資格取得者が地域貢献活動上での課題を共有した。</p> <p>2) について 令和4年度に実施した准看護師の進学支援についてのアンケート結果をもとに会場を東西にわけて「准看護師スキルアップ研修会」を開催した。内容として「5類に引き下げられた新型コロナウイルス感染症の対応」についての研修会、看護師養成所2年課程への進学や利用できる制度に関する情報提供と交流会を開催した。研修会のアンケート結果をもとに来年度の企画内容を検討する予定である。</p> <p>3) について 看護師の基礎教育をめぐる現状や課題を共有するために「看護師基礎教育を考える会」を開催した。講演会のアンケート結果をもとに来年度の企画内容を検討する予定である。</p>

3 教育委員会

委員長 上野由紀恵

1 活動目標	<p>1) 令和5年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。</p> <p>2) 会員のニーズおよび令和5年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上につながる令和6年度教育研修を企画・立案する。</p> <p>3) 教育研修立案に際して、常任委員会および職能委員会、各支部と連携し、各委員・支部からの要望を反映した研修計画を立案する。</p>
--------	--

2 委員会開催	計画9回中8回開催(うちWeb&対面で同時開催2回)																				
3 活動内容	<p>1)教育研修会の広報と実施</p> <p>(1)看護実践能力養成研修会 実施研修数 31コマ/32日 受講者総数 2,670人</p> <table border="0"> <tr> <td>① 新人研修</td> <td>2/2回</td> <td>⑥ 看護実践力(JNAラダー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 看護研究</td> <td>2/2回</td> <td>ア ニーズをとらえる力</td> <td>3/3回</td> </tr> <tr> <td>③ 看護管理</td> <td>5/5回</td> <td>イ ケアする力</td> <td>7/7回</td> </tr> <tr> <td>④ 自己教育関連</td> <td>3/3回</td> <td>ウ 協働する力</td> <td>4/4回</td> </tr> <tr> <td>⑤ リクエスト枠</td> <td>1/1回</td> <td>エ 意思決定を支える力</td> <td>4/4回</td> </tr> </table> <p>2)研修の評価と次年度研修計画立案</p> <p>(1)令和5年度の教育研修の運営・評価 (2)令和6年度の教育研修計画の企画・立案 (3)研修がより有意義に、受講者がより参加しやすい形で受講できる研修方法を模索、検討した。</p> <p>3)関係する委員会との連携 常任委員会及び職能委員会、支部へ次年度の研修内容に関する要望を書面にて募り、次年度計画に反映させて立案した。</p>	① 新人研修	2/2回	⑥ 看護実践力(JNAラダー)		② 看護研究	2/2回	ア ニーズをとらえる力	3/3回	③ 看護管理	5/5回	イ ケアする力	7/7回	④ 自己教育関連	3/3回	ウ 協働する力	4/4回	⑤ リクエスト枠	1/1回	エ 意思決定を支える力	4/4回
① 新人研修	2/2回	⑥ 看護実践力(JNAラダー)																			
② 看護研究	2/2回	ア ニーズをとらえる力	3/3回																		
③ 看護管理	5/5回	イ ケアする力	7/7回																		
④ 自己教育関連	3/3回	ウ 協働する力	4/4回																		
⑤ リクエスト枠	1/1回	エ 意思決定を支える力	4/4回																		
4 評価と今後の課題	<p>1)教育研修会は感染蔓延防止に留意しながら、受講者数を制限せず対面での集合研修を実施した。講師は受講者の反応を確認することができ、受講者は講師に直接質問できるなど、双方から高い満足度が得られた。また12月の研修申し込みより研修システム「manaable:マナブル」を導入した。R6年度4月から完全移行できるように広報していく。</p> <p>2)各研修の状況や受講者の研修アンケート、各支部や常任委員会からの要望を基に「看護職の生涯学習ガイドライン」を視野に入れ、研修内容や学習形態を考慮し企画した。オンライン研修は研修目的や学習形態、受講者の利用状況から、「サテライト型」と「個別参加型」に分け柔軟に対応していた。今後も受講者ニーズやトピックス等を考慮し、受講者にとって魅力的な研修を企画していく。</p> <p>3)各支部、常任委員会に提示し、5支部1委員会より研修希望があった。頂いた意見や要望を教育計画に反映させながら、受講者にとって有意義な研修となるよう計画立案に取り組めた。今後も各支部、委員会からの意見や要望を聞き、幅広くニーズに沿えるよう努めていく。</p>																				

4 学会委員会

委員長 江藤亜矢子

1 活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興とそれに連動した看護の質向上を図る。
2 委員会開催	6回(4/15、7/29、10/27、12/5、1/4、2/16)開催
3 活動内容	<p>1)第23回山口県看護研究学会の企画 テーマ「看護の原点をみつめ未来につなぐ」 開催日時：R6.3.2(土)9:00～12:40 内容：口演発表7題、示説発表3題 特別講演：『看護の原点をみつめる』 ～スピリチュアルケアとは～ 講師 大慈学苑代表 玉置妙憂氏 参加人数 一般参加 76人、学生111人</p> <p>2)投稿募集、応募原稿査読、選考を行い第23回山口県看護研究学会抄録集を発行した。</p> <p>3)山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、特別講演をオンデマンド配信し学会参加の裾野を広げる企画としたが、申込者は7人とどまった。 ・学会開催時期については、学会参加者にアンケート調査を実施 ・4月に開催予定の学会委員会にて、研究学会の企画・運営を振り返る予定
4 評価と今後の課題	<p>第23回山口県看護研究学会は、参加人数に制限をせず、体調セルフチェック実施のもと対面形式で開催し、参加人数は一般76人、学生111人であった。一般演題は口演発表7演題、示説発表3演題と昨年度学会より増加した。特別講演は昨年度アンケートのテーマ希望を参考に「ケアリング」をテーマとする講師をお招きし開催し、オンデマンド配信も実施した。昨年度と同様、午前中みの開催であり、予定通り進行し問題なく学会を終えることができた。</p> <p>学会を終えてみて、示説発表では聴講者が少なかったため、次年度に向けて発表場所・発表スケジュール等の検討が必要と考えられる。また、特別講演のオンデマンド配信の申込者が少なかったため、配信に関する学会員への発信方法等についても検討が必要である。</p>

5 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 大林由美子

1 活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1)カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2)認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2 委員会開催	4回
3 活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1)R5年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修運営と修了審査、教育評価 2)R5年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 3)R5年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 4)R4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 5)R5年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 6)ファーストレベル、セカンドレベル、サードレベル各研修課程の教育運営と受講者施設との連携に関する検討 7)R7年度より開始となる新カリキュラム基準についての情報共有
4 評価と今後の課題	<ol style="list-style-type: none"> 1)評価 計画通り、カリキュラム基準に沿った円滑な運営と教育評価を行うことができた。Webによる委員会の開催により、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けることなく前向きな審議ができた。 ファーストレベル受講者選考も、検討基準にもとづき実施することができた。 2)今後の課題 令和7年度より開始予定の新カリキュラムによる教育目的・目標および内容に準じたカリキュラムを検討する。

6 広報委員会

委員長 栗林美登里

1 活動目標	1) 県内の様々な取り組みを情報発信する。 2) 看護協会の認知度を高める。 3) 協会や県内各施設の取り組みに対し、時宜を得た広報活動を行う。 4) 会員が興味ある内容を掲載できるよう情報収集し、工夫をはかる。
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1) 山口県看護協会会報誌「きらめき」年に3回発行 (1)発行時期：6月、10月、1月(会報号156号、157号、158号) (2)実施内容等 ①掲載内容・紙面形式の検討 ②原稿依頼 ③原稿の編集・校正 ④紙面構成の検討 ⑤看護協会会員特典等の情報収集 2) ホームページの充実 ブログの更新 3) 県内各地施設の新たな取り組み等の情報収集 4) SNS(LINE)の発信
4 評価と今後の課題	各病院・施設等がアピールできるような表紙、ユニフォームの紹介、今年の顔の紹介、ペット自慢など、会員が積極的に参加できる誌面作りができた。今後は認定看護師・専門看護師・特定行為修了者・プラチナナースの活動紹介や、かんごちゃんも特別委員として活動記を掲載、福利厚生を紹介など内容を更に充実させ、一人でも多くの方に見て頂けるような楽しい広報誌を刊行していきたい。 SNS(LINE)の内容を検討し、積極的に発信することで会員に最新の情報が届くようにしていきたい。

7 推薦委員会

委員長 橋本佳子

1 活動目標	1) 役員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 2) 職能委員会委員・常任委員会委員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 3) 日本看護協会代議員及び予備代議員の推薦
2 委員会開催	2回
3 活動内容	1) 第1回推薦委員会 書面開催 (1)推薦者の確認 2) 第2回推薦委員会(県推薦委員・支部推薦委員合同会議) オンライン開催 (1)推薦委員の任務について (2)委員長選出 (3)職能ごとに次期候補者の検討 (4)各施設への電話連絡 (5)各職能より候補選出進捗状況の確認 (6)未決定候補者の再検討
4 今後の課題等	令和5年度の県推薦委員と支部推薦委員の合同会議は、3回にわたりオンラインで開催したが、参加率が高く、今後も有効活用を図りたい。また、県推薦委員の病院等との折衝状況を県推薦委員及び支部推薦委員にメールで通知して、情報の共有を図り、特定の病院への依頼が集中しないように配慮した。会議資料については、要点をわかりやすく整理・統合する必要がある。

8 医療安全推進委員会

委員長 米原美奈子

1 活動目標	1) 医療安全管理者の資質向上の推進 2) 医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援 3) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進
2 委員会開催	7回開催 (うち1回は圏域代表を招集して開催)
3 活動内容	1) 医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価 テーマは「失敗から学ぶ医療安全」、講師は三好彰範先生を招き令和6年1月24日(水)開催した。申込者は53人であったが、研修当日の天候が積雪のため17人が欠席となり、参加者は36人であった。 2) 医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 (1) 山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価 ① 圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 圏域代表会議を令和5年10月11日に実施し、圏域代表者と活動報告、意見交換、情報交換した。 ② 現任の医療安全管理者を対象としたネットワーク構築を目的とした企画(2回) 医療安全管理者情報交換会 1回目：R5.6.29に開催。参加者：専従15人、専任19人(合計34人) 2回目：R5.12.21に開催。参加者：専従13人、専任12人、(合計25人) 3) 県協会広報誌「きらめき」による医療安全情報の発信(年3回) 157号(10月)、158号(1月)に医療安全情報を掲載した。159号は作成中である。 4) 「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及活動 H31.3.31に発行されてから5年が経過していたため、見直した。看護職の倫理綱領の更新のみ実施した。3月頃を目安にWeb およびホームページに掲載予定
4 評価と今後の課題	R5年度は、医療安全管理者情報交換会を年2回開催し、参加者も多くネットワーク活動を推進できた。スキルアップ研修については、悪天候で参加者が減ったものの好評であった。来年度は圏域代表の意見も吸い上げ、より満足できる研修会としていきたい。また来年度は「看護職 あなたのためのリスクマネジメント」を多くの人が活用できるよう取り組んでいく。

9 災害支援委員会

委員長 木村直也

1 活動目標	1) 災害支援活動体制の整備・充実 2) 山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援 3) 一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力向上
2 委員会開催	7回(5/10 7/13 9/6 10/5 11/18 2/9 3/16)
3 活動内容	1) 委員会活動内容 (1) 新災害支援ナース養成研修の内容の検討、企画、実施 ファシリテーターとの打ち合わせを行い、研修の意義・目的・全体のながれを検討特にワークについては実際の場面でどう活動するか判断ができるような体験的学習とした。また、委員は研修会のファシリテーター等の役割を担った。 (2) 災害支援ナース新制度についての情報収集、検討 厚生労働省医政局からの新情報収集に努め、マニュアル等に反映させた。

	<p>(3)災害支援ナースフォローアップ研修の内容の検討 (4)山口県総合防災訓練における展示参加の検討・準備</p> <p>2)研修開催内容</p> <p>(1)新災害支援ナース養成研修 e-ラーニング修了者に集合研修を実施 第1回 R5.12.6(水)、12.7(木)の2日間 修了者 64人 第2回 R6.1.17.(水)、1.18(木)の2日間 修了者 41人</p> <p>(2)災害支援ナースフォローアップ研修 R5.7.13(木) テーマ「被災地における協働」 参加者 79人</p> <p>3)その他</p> <p>(1)2023年度 山口県総合防災訓練参加 R5.6.4(日)山口県総合防災訓練(萩総合庁舎)委員他9人参加。 災害時・避難時に役立つ知識や技術体験実施 地域住民 約100人参加</p> <p>(2)能登半島地震災害意見交換会への参加 (被災地支援者実数24人 延96日) R6.3.16(土)意見交換会 参加者22人</p> <p>(3)関係機関、団体との協働、協力</p>
<p>4 評価と今後の課題</p>	<p>1)評価</p> <p>次年度4月からの災害支援ナース制度変更に伴い養成研修の内容も大幅に変更された。従来の「基礎編」にあたる部分はe-ラーニングとなり、「実務編」に相当する災害編・感染編の内容を日本看護協会からのガイドラインを元に、新たに検討・企画し2日間の集合研修として行った。また、今まで災害支援ナースとして登録をしている看護師も研修の再受講が必須となる。今年度の受講希望者数の把握が困難であり、グループワーク形式のため一度の受講者数に限りがあることから、本年度は2回開催とした。通常、受講内容の質の均一化を図るため1回目・2回目の内容は極力変更しない事が望ましいが、初回開催でもあるため1回目のアンケートを参考に、内容に著しい差の生じない範囲で改善を行い、2回目の受講者の研修満足度の向上につなげた。</p> <p>フォローアップ研修については三田尻病院 豊田医師と、委員の永井氏に行政の立場での支援内容で講義形式で実施し、災害支援ナース既登録者の知識の向上とモチベーションの維持・向上に繋げた。</p> <p>県の総合防災訓練に於いては、看護協会の災害時の活動PRと、手指衛生・救急救命法の体験型展示を行った。展示スペースが屋内の2Fフロアであったため集客数に不安があったが想像以上に見学者もあり、体験型展示にも興味をもって取り組んで頂けた。</p> <p>能登半島地震の災害支援ナース派遣活動後に意見交換会が実施された。活動そのものの形が変化・整備されつつあり、参加者からの意見も建設的な内容が多く挙げられた。</p> <p>2)課題</p> <p>今年度、3人の委員が災害支援ナース育成指導者研修を受講し、制度変更後の養成研修の方向性が確認できたため、次年度の養成研修に反映させ、災害支援ナースの更なる質向上に繋げる。フォローアップ研修についてはCOVID-19流行下では講義形式での実施が多く、ディスカッション等が行えない状況であったが、支援ナースにとってはこの研修によりコミュニケーションスキルの向上に繋げる側面もあるため、今年度はディスカッション形式での研修を積極的に実施していく。</p>

10 在宅ケア推進委員会

委員長 世良由華

1 活動目標	1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み 2)在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進
2 委員会開催	5回
3 活動内容	<p>1)在宅ケアにおける看護の機能強化に繋げるための取り組み</p> <p>(1)在宅ケア推進における具体的な課題の抽出と検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの委員会活動で得た情報から在宅ケアに関する課題を整理し、今後の委員会活動の方向性を検討した。 ・在宅ケアに関する課題として、退院時等の情報提供の在り方、人材育成に対する課題があがってきた。それを踏まえて、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業支部運営委員会と意見交換を実施。看看連携について直近の状況と情報提供の在り方等の意見を聴取する。 ・意見交換会の結果から、情報提供書の「書き方ガイド」を作成することを決定する。各地域の情報提供書を収集し、「病棟看護師が介護支援専門員に情報提供する際の情報提供」にテーマを絞り、次年度以降作成にむけて作業を行う。 <p>(2)広報きらめき10月号に活動紹介</p> <p>2)在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進 訪問看護育成支援事業実施状況等の情報収集</p>
4 評価と今後の課題	<p>これまでの委員会は、コロナ禍で検討が進まなかった。さらに、今年度は、委員6人中4人が交代するという状況から、今までの委員会活動で得た情報を整理し、今後の活動を原点に立ち返り、再検討した。新メンバーで意見を出し合い、「情報提供の在り方」に焦点をあてて、今後の活動の道筋を立てることができた。</p> <p>今後、委員会の活動を他の委員会にも知ってもらうために他の委員会との交流や情報収集も行っていきたい。</p> <p>また、委員に訪問看護師を必須としたら良いのではないかという意見があった。</p>

新型コロナウイルス感染症への対応

1 行政・関係団体との連携（山口県新型コロナウイルス感染症関連会議への出席）

1) 山口県新型コロナウイルス感染症専門家会議（オンライン）

開催日	回	内 容
2023年 4月26日	1回	これまでの本来のコロナ対応及び5類変更に伴う医療提供体制について
2023年 8月22日	2回	(1)新型コロナウイルス感染症に関する住民への注意喚起等の目安について (2)5類変更後の本県における新型コロナウイルス感染症の状況について (3)その他

2) 山口県感染症対策連携協議会（オンライン）

開催日	回	内 容
2023年 6月12日	1回	感染症対策連携協議会の設置について 感染症予防計画の改定等に向けて
2023年 9月12日	2回	感染症予防計画の改定等に向けて
2023年11月 6日	3回	感染症予防計画の改定等に向けて
2024年 2月 7日	4回	感染症予防計画の改定等と今後の保健・医療体制の整備に向けて

3) その他の会議・研修等

開催日	会議名	備考
2023年 4月11日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（岩国、宇部・小野田圏域）	オンライン
2023年 4月12日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（山口・防府圏域）	オンライン
2023年 4月13日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（下関圏域）	オンライン
2023年 4月14日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（萩圏域）	オンライン
2023年 5月10日	病院における院内感染対策実践セミナー	山口グランドホテル
2023年 7月27日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（周南圏域）	オンライン
2023年 8月 7日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（下関圏域）	オンライン
2023年 8月 8日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（萩圏域）	オンライン
2023年 8月 9日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（山口・防府圏域）	山口健康福祉センター
2023年 9月25日	139病院向け及び感染症会議専門家委員向け会議 （令和5年10月以降の医療提供体制について：フェイズ、病床確保等）	オンライン
2024年 1月16日	改定感染症法に基づく医療措置協定に係る説明会	オンライン
2024年 3月19日	令和6年度以降の新型コロナ対応等に関する説明会（山口・防府、宇部・小野田圏域）	オンライン

看護職員の処遇改善への取り組み ～診療報酬・介護報酬等の大幅改定を求める取り組みについて～

令和6年の春、6年に一度の診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定と同時に保育等の公定価格の改定が行われることから、本協会と山口県看護連盟では、関係団体等に診療報酬・介護報酬等の大幅改定を求めるための働きかけを行った。

○「診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬及び保育等の公定価格の大幅改定を求める決起大会」への参加

令和5年10月1日に山口市湯田温泉のかめ福オンプレスにおいて、自民党県連、医療、福祉、保育の関係団体の関係者ら約500人が参加する決起大会に本協会及び県看護連盟から西生会長、長谷川会長をはじめ、役員、看護管理者等50人が参加した。

主催者代表である県連の畑原勇太政調会長からは、次期報酬や公定価格の大幅改定が勝ち取れるよう関係者が一丸となって取り組むことを呼びかけられ、来賓の村岡嗣政知事からは、県としても政府要望を通じて国に強く働きかけるとの意向が示された。

○令和6年度 県に対する施策・予算措置の要望書において「全ての看護職員の処遇改善」を要望

令和5年10月25日開催の政策聴聞会において、本協会長と県看護連盟会長の連名で、看護職員のみならず、すべての医療・福祉・保育関係従事者の給与の適正な引き上げによる処遇改善と地域経済の底上げを目指して、診療報酬等の大幅改定を山口県から国へ強く働きかけていただきたい旨の要望書を提出した。

○村岡知事、柳居県議会議長及び吉田議会運営委員長が、山口県の「令和6年度予算編成及び政策決定等に関する国への提案・要望」において、11月9日に超重点項目として以下の内容で厚生労働省に要望された

(要望内容)

医療・福祉・保育関係従事者の賃上げにつながる、令和6年度の診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬及び保育等の公定価格の大幅改定について

○令和6年度診療報酬改定において、看護職員をはじめとする医療関係職種に対する処遇改善の加算（ベースアップ評価料）が新設

重点方針

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月から5類に移行されたものの、依然、感染の収束は見えず、また、新たな感染症への警鐘も鳴らされる中、看護職は、いまなお各医療現場等で懸命に職責を果たし続けており、その役割・職責の重要性はかつてないほど社会に浸透している。

こうした中、国において2040年を見据えた少子高齢化社会の人口・疾病構造の変化への対応として進められている地域包括ケアを含む社会制度改革は、長期間における感染症により大きな変更を余儀なくされ、これまで以上に柔軟な対策・対応が求められている。

このため、医療と生活の双方の視点を持った人材育成に加え、感染拡大が生じても、一般医療や救急医療等を含む保健医療システムを機能させながら社会活動を維持させるべく、平時からの危機的な状況下でのマネジメントや感染管理、人員配置などの医療供給体制等の整備、それを支える人材の育成・確保が急がれる。

本協会は看護職能団体として、かねてより、疾病予防・健康づくり、重症化予防に専門性を発揮したところであるが、看護職が社会の期待に応え、その重責を果たすためには、協会の組織力を強化し、社会ニーズを適宜、適切に踏まえた事業展開による看護職の育成・確保・活躍にむけた研修体系の充実、処遇改善など活躍しやすい社会環境づくりに取り組まなければならない。

本協会では、各職能の専門性を活かしながら、看護職が必要とされるあらゆる場で、住民のニーズ、社会からの期待に一層応えるため、これらを踏まえ、令和6年度は以下の5点を重点方針として事業を行う。

- 1 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携
- 2 看護職の確保と定着の促進
- 3 看護の質の向上とキャリア形成の促進
- 4 組織力の強化
- 5 地域における健康危機管理体制の強化

令和6年度 重点方針・重点事業の説明

重点方針Ⅰ 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

【事業概要】

地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため「全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携」を重点方針とし、子ども・子育て世代、障害者、高齢者など、全ての住民を対象とした取り組みを進めている。とりわけ訪問看護は、在宅療養支援の要となるサービスであり、訪問看護師の人材確保、育成、訪問看護ステーションの機能強化が必須となっている。そのため重点事業として、訪問看護に係る様々な課題を一体的・一元的に解決し地域における訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図るため、「訪問看護総合支援センター」を設置し運営することとしている。

さらに、在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携の強化を図る目的で、地域における課題の抽出と課題解決のための取り組みを支部事業として展開している。今後も、地域の特性を活かしながら看護職のみならず多職種との協働・連携へと発展させていく。

また、保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱの各職能委員会及び在宅ケア推進委員会において、地域を見据えた専門領域での看護職間および多職種間の連携について検討し、抽出した課題解決に向けた取り組みを継続するとともに、母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みについても継続する。

【重点事業】

I-1（新規）訪問看護提供体制推進事業 県委託

- ・訪問看護総合支援センターの開設と運営

【ポイント】 「経営支援」「人材確保」「訪問看護の質の向上」を目的とする

「事業所運営基盤整備支援（相談・支援）」「潜在看護師・プラチナナース等の就業及び転職促進等による人材確保」「訪問看護に関する情報分析」「教育・研修の実施」等を行う
ナースセンター、関係団体、行政と連携して取り組む

I-2 地域連携における看護の機能強化事業

- ・在宅療養支援のための看護職連携推進研修 県委託を含む

【ポイント】 支部事業として、保健医療圏域ごとの課題に沿った活動を実施

- ・在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み

【ポイント】 在宅ケア推進委員会において多職種間の連携の現状を踏まえ、効果的な取り組みを検討

I-3 看護業務の質の向上に関する事業

- ・保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ各職能委員会の活動

【ポイント】 4職能委員会及び在宅ケア推進委員会において専門領域での地域における連携について検討

職能間での専門領域における連携上の課題解決に向けての取り組み（常任委員会と連携した活動）

- ・母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組み

【ポイント】 助産師職能委員会を中心に、他の職能委員会等と連携して進める

重点方針Ⅱ 看護職の確保と定着の促進

【事業概要】

山口県内の看護職員就業者は25,059人（令和4年12月末）で、2年前と比較すると226人の微減となっている。※看護師数は248人の増（衛生行政報告例）

本県では、地域や就業場所による偏在が顕著であり、県北部の看護職員不足や小規模病院・介護施設・訪問看護ステーションの看護師確保が課題となっている。また、大規模災害や新興感染症等が拡大した場合の健康危機管理体制強化のためにも看護職確保が必要となる。

今後も潜在看護職の活用による看護職の確保を図るため、再チャレンジ研修の充実をはじめ、きめ細やかな復職支援を行うとともに、退職時の届出制度の一層の周知を図り、求職者や求人施設のe-ナースセンターへの登録を推進していくことで、危機時にも役立つシステムとして定着させる必要がある。

また、少子超高齢化の進展が加速し、2040年には現役世代（担い手）が急減する見込みである中、看護職員の確保定着の取り組みが喫緊の課題となっている。離職中、定年退職後や定年退職を控えた看護職がこれまで培ってきた知識と経験を活かし、新たなキャリア人生を充実させ、働き続ける意識を醸成することで看護職の確保を図るため、新たにセカンドキャリア活躍推進事業を進めていく。

【重点事業】

Ⅱ-1 ナースセンター事業 県委託

- ・無料職業紹介
- ・離職者・未就業者届出サポート
- ・再チャレンジ研修

ポイント 看護管理者や看護職に対して届出制度の周知活動、病院等との連携強化
潜在看護職へのきめ細かい復職支援

Ⅱ-2（新規）セカンドキャリア活躍推進事業

- ・セカンドキャリア世代の就業や地域活動を促進

ポイント ・実態調査
・人材活用バンクの充実（キャリア相談、求人施設の開拓）
・セカンドキャリアセミナー、セカンドキャリアによる交流会、職場体験会等
・セカンドキャリア版就業相談会

【他事業】

- ・働き続けられる職場づくり推進事業
- ・プレナース発掘事業 県委託
- ・看護職員再就業支援相談会 県委託

重点方針Ⅲ 看護の質の向上とキャリア形成の促進

【事業概要】

医療・看護を取り巻く状況は大きく変化しており、看護職にはあらゆる場での専門職としての役割発揮が期待されている。今後も看護職が多様な場であらゆる世代の人々の健康を支えていくためには、ニーズに応えられる体制を強化し、より効率的な看護提供を行うことが求められる。

看護の専門性を十分に発揮し、安定的で質を確保した看護の提供のため、認定看護師等の質の向上を図るとともに、専門性を活かして地域で活躍できる場を広げ、地域のニーズとのマッチングなど、地域の健

康づくりに貢献するためのシステムをつくり上げ、地域全体の健康レベルの向上に資する事業を展開していく。

また、看護職個々が本協会の研修等を活用し、継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるような企画・運営を行う。

【重点事業】

Ⅲ-1 看護業務の質の向上に関する事業

・認定看護師等活躍推進事業

- ポイント** ・専門看護師・認定看護師等の全体交流の中で地域活動を行う上での課題を抽出し、解決に向けて何ができるかを検討していく。
- ・専門看護師・認定看護師の全体交流研修会と分野別での交流会を開催
 - ・地域別の看護管理者等と専門看護師・認定看護師等の交流研修会の開催
 - ・専門看護師・認定看護師の登録制度システムづくり
 - ・専門看護師・認定看護師登録制度システムを稼働させ、専門看護師・認定看護師と地域の要望をマッチングする。

Ⅲ-2 県立総合医療センターと連携した教育研修体制の構築

- ・看護人材の確保とその育成に関する連携協定に基づき、教育研修体制の構築を図る

【他事業】

- ・看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の導入支援
- ・保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能委員会活動
- ・看護制度委員会活動
- ・一般教育研修
- ・認定看護管理者教育（ファーストレベル・セカンドレベル）
- ・新人看護職員研修事業 県委託
- ・助産実践能力向上事業 県委託
- ・実習指導強化推進事業 県委託
- ・助産師出向支援導入事業 県委託
- ・認知症地域医療支援事業 県委託
- ・インターネット配信研修
- ・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
- ・医療安全推進事業
- ・第24回山口県看護研究学会の開催

重点方針Ⅳ 組織力の強化

【事業概要】

組織力の強化を図る上では、会員の確保、看護が担うべき役割を支援する事業の一層の推進や迅速な情報発信等を行う上での職員の育成や体制整備等が必要である。

本協会の会員数の状況は、令和元年度をピークに漸減しており、入会率は就業者数の約40%にとどまっている。会員数の減少に歯止めをかけ増加に転じていくため、新卒者の入会促進、再入会への呼びかけ、未入会施設等への働きかけ等、会員数増への取り組みを一層強化していく。

また、若い世代に看護の魅力を伝え、看護職に看護協会の存在意義、役割等を周知していくためには、広報力の強化に向けた取り組みや効果的な情報発信が必要となる。今年度は特に、PRバスを活用した看護の日・看護週間事業やSNSによる情報発信等を進める。

【重点事業】

IV-1 組織運営に関する事業

・入会促進に向けた活動

ポイント 看護師等学校養成所への訪問による入会案内及び記念品の贈呈、未入会施設及び会員減少施設への訪問による入会案内や再入会の呼びかけ等の入会促進強化

IV-2 広報活動事業

・(拡充) 看護の日・看護週間事業

ポイント PRバスの運行、看護の日キャラクター「かんごちゃん」を活用した広報活動を促進

・SNSによる情報発信の強化と山口県看護協会ホームページの充実

ポイント LINEによるスピーディーな情報発信と友だち登録の増加

【他事業】

- ・支部活動の充実
- ・財務の健全運営の取り組み
- ・会員の福祉及び相互扶助に関する事業
- ・他団体との連携

重点方針V 地域における健康危機管理体制の強化

【事業概要】

看護職は、コロナ禍の最前線でリスクと対峙しながらも、専門性を発揮しその役割を果たしてきた。今後も、新たな新興感染症や大規模災害等の発生が予測される中、更なる健康危機管理体制の整備と強化が望まれる。

令和6年度の感染症法及び医療法の改正に伴い、災害・感染症発生時に都道府県知事の求めに応じて派遣される医療チームの仕組みが法定化され、災害支援ナースは「災害・感染症医療業務従事者」として位置付けられた。この新たな仕組みによる応援派遣体制を構築するため、令和5年度から自然災害と新興感染症に対応できる看護職の養成を開始した。今年度においても、新たな災害支援ナース養成研修をさらに充実させ、県とも協働して、応援派遣調整の体制整備を進める。

【重点事業】

V-1 大規模災害発生時及び新興感染症等の感染拡大への対応体制の強化

- ・災害支援ナース養成研修の開催及び修了者のリスト管理
- ・「災害・感染症医療業務従事者」による応援派遣調整体制の確立
- ・日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練、山口県総合防災訓練等への参加

ポイント 県行政等関係機関との健康危機管理体制強化のための協働

重点方針とは別に取り組む事業

1 人々の健康及び福祉の増進に関する事業

【事業概要】

看護師国家試験の合格者は約5.9万人/年であり、これを維持していくためには、2030年には、18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要がある。小・中・高校生や教員、保護者を対象に、進路選択で看護学校・大学への進学を選択してもらうために、県内看護学校の情報提供やふれあい看護体験や出前講座などにより看護職に触れ合う機会を提供する。まちの保健室等住民を対象とした活動については、活動範囲を広げ、実施場所や方法の工夫により充実させる。

【事業】

- ・「看護の日」及び「看護の心」PR 事業
- ・プレナース発掘事業 県委託
- ・健康相談・啓発等の事業
- ・まちの保健室活動
- ・「国際助産師の日」活動
- ・がん総合相談窓口の運営 県委託
- ・訪問看護ステーションの運営

定款第4条の8つの事業に沿った事業計画

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項 (1)一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会 31コマ32日程度
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 20日間 ②認定看護管理者教育課程セカンドレベル 180時間 32日間 ③フォローアップ研修(ファーストレベル・セカンドレベル)
(3)新人看護職員研修事業 (山口県委託)	①検討会 2回程度 ②研修責任者研修 4日程度 ③教育担当者研修 6日程度 ④実地指導者研修 5日程度
(4)助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 (山口県委託)	①新人助産師研修 6日 ②助産実践能力向上研修 5日程度
(5)実習指導強化推進事業 (山口県委託)	①検討会 2回程度 ②実習指導者養成講習会 33日程度 ③実習指導者と看護教員の相互研修 2日程度 ④実習指導アドバイザー派遣 3回程度
(6)看護職員認知症対応能力向上 研修(山口県委託)	①検討会・打合せ会 5回程度 ②看護職員認知症対応能力向上研修 3日間 2回
(7)JNA収録DVD研修 (日本看護協会委託)	①認知症高齢者の看護実践に必要な知識 4回
(8)その他研修	①看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2回 ②外来における在宅療養支援能力向上のための研修 1回
(9)委員会	①教育委員会 10回程度 ②認定看護管理者教育運営委員会 4回程度
(10)日本看護協会との連携	①全国看護基礎教育担当者会議
2)医療安全推進事業 (1)医療安全管理者の養成および 実践能力向上のための研修	①医療安全管理者養成研修 日本看護協会インターネット配信研修35時間 都道府県看護協会 集合研修5時間 ②医療安全管理者スキルアップ研修(1回)
(2)医療安全推進事業	①医療看護安全啓発

事業項目	主な事業内容
	医療安全情報さらめき掲載 医療事故調査制度等施設、管理者への情報提供 「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の・啓発・普及活用促進
(3)医療安全管理体制の構築・充実	①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 圏域代表との意見、情報交換 1回 ②医療安全管理者交流会の開催 2回
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	①看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習を伴う講習会受講者への加入促進 ②看護職賠償責任保険制度サービス推進室の利用推進
(5)委員会	①医療安全推進委員会 7回 内、1回は圏域代表を招聘しての会議
(6)日本看護協会との連携	①都道府県看護協会医療安全推進会議 1回 ②医療事故調査制度等医療安全に係る研修会への参加 1回
3)学会等学術集会に関する事業	
(1)山口県看護研究学会開催	①第24回山口県看護研究学会 3月
(2)委員会	①学会委員会 6回
(3)日本看護協会との連携	①日本看護学会運営会議 1回
4)図書室運営に関する事業	
(1)図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 ②図書貸出 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌)
(2)日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入 ②最新看護索引Web機関版の利用 ③都道府県看護協会図書室担当者研修

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)ナースセンター事業	
(1)ナースセンター運営協議会 (山口県委託)	協議会開催 1回
(2)無料職業紹介 (山口県委託)	①第6次NCCS(ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用 ②第7次NCCS運用開始(予定) ・無料職業紹介

事業項目	主な事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者の登録 ・求人施設の登録 ・求人・求職情報の更新、情報提供 ・求職者に対する相談 ・求人情報の提供 ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・連携事業連絡調整会議 2回 ③その他 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の広報 ナースセンターだよりの発行、県ホームページ、本協会ホームページ、市町広報、メディア等
(3)再チャレンジ研修 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①再就業支援研修(地域施設研修) <ul style="list-style-type: none"> ・研修協力施設 25施設 ・募集期間 R6.5～R7.3上旬 ・研修 随時実施 ・研修期間 3日～5日程度 ②集合研修 3回 ③調整会議 1回 ④広報
(4)就業コーディネーターの配置 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①ハローワークでの出張相談、就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・岩国、徳山、山口、防府、宇部、萩、下関、長門、柳井、下松のハローワークで実施 ・5月より各会場で月1回実施(長門、柳井、下松隔月1回) ②再就業にあたり看護技術等の再習得を希望する者に対する研修調整 ③求人施設等への訪問 ④調整会議 3回
(5)新ナースのお悩み相談室 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①ナースセンターでの相談、就業支援 9:00～16:00(開館日) ②広報 ③調整会議 3回
(6)看護師等就業協力員の育成 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①看護師等就業協力員研修会の開催 1回 ②就業協力員の活動として学校訪問への支援
(7)演習器材の貸出 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①器材の貸出 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出対象 看護職員を配置する施設 ・貸出器材 8種 ②個人の技術演習 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 技術演習の希望者 ・演習日 4回/月 毎週金曜日 ・演習項目 採血・注射・吸引・心肺蘇生など ③広報
(8)離職者・未就業者届出サポート (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①届出について病院との連携体制の整備・強化 ②届出制度の広報・広告 ③相談対応、登録サポート

事業項目	主な事業内容
(9)看護職員再就業支援相談会 (山口県委託)	<p>④届出者への情報提供</p> <p>①相談会の開催 県内5会場 (ハローワークと合同開催) ・対象者 再就業を希望する者 ・参加施設 中小規模の医療機関や訪問看護ステーション、施設等</p> <p>②相談会のあり方検討会 2回</p>
(10)会議等への出席	<p>①職業紹介責任者講習(全国民紹協)</p> <p>②山口県看護職員確保対策協議会(県)</p>
(11)日本看護協会との連携	<p>①都道府県ナースセンター事業担当者会議(中央ナースセンター)</p> <p>②都道府県ナースセンター相談員研修(中央ナースセンター)</p> <p>③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会中国・四国ブロック</p> <p>④都道府県ナースセンター地域に必要な看護職確保</p>
2)プレナース発掘事業 (1)看護PRリーフレットの作成・ 配布(山口県委託)	<p>看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、 県内中学校や高等学校、関係機関に配布</p>
(2)1日ナース体験 (山口県委託)	<p>対象：中学生、高校生 期間：夏休み期間 施設：参加協力施設</p>
(3)看護の魅力発見 (山口県委託)	<p>①看護の魅力発見の開催 対 象：小学生、中学生、高校生、保護者、看護に興味がある人 実施地域：3か所程度 内 容：ワークショップ、ミニナース体験、看護の進路相談、看護のお 仕事相談</p> <p>②事業検討委員会 2回</p>
(4)看護職員の学校訪問 (山口県委託)	<p>①学校訪問の実施 学校と調整し訪問 対象：中学生、高校生やその進路指導を行う教員等 内容：・看護の仕事や看護職となるための方法について普及啓発 ・次世代ナース確保の重要性に関する講話 ・職業講話</p>
(5)日本看護協会との連携	<p>若年層への情報発信の強化</p>
3)働き続けられる職場づくり推 進事業 (1)働き続けられる職場づくりの 啓発・支援	<p>①労働環境支援委員会 4回</p> <p>②看護職員就労定着支援事業 研修会：1回 対象：5年目以上の看護職</p>
(2)日本看護協会との連携	<p>看護労働担当者会議</p>
(3)医療勤務環境改善に関するア ドバイザー派遣業務	<p>医療勤務環境改善支援センターからの依頼を受け、支援対象機関に働き方等 に関するアドバイザーを派遣</p>

事業項目	主な事業内容
(山口県委託)	
4)新セカンドキャリア活躍推進事業	①実態調査 ②「セカンドキャリア人材バンク」の充実(キャリア相談、求人施設の開拓) ③セカンドキャリア支援研修会・交流会等
5)看護職員メンタルサポート事業	就業看護職員の精神的な疲労による離職を未然に防ぐための対策 ①看護職員に対するメンタルサポーター(公認心理師等)による相談の実施 ②看護管理者メンタルヘルス研修の実施 ③出張による個別相談および院内研修

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護業務の質の向上に関する事業	
(1)保健師職能委員会	①保健師職能委員会 8回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 1回 ④地区別保健師職能委員長会 1回
ア 保健師の連携強化及びネットワークの構築	①保健師職能集会の開催 ②保健師職能交流会の開催 ③支部委員との連携強化としての合同会議を開催し情報交換 ④ひたむきな保健師取材、会報きらめき掲載 3回 ⑤ホームページ、会報「きらめき」による情報発信
イ 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進	①研修会・交流会の実施 ②一般教育研修計画への参画
ウ 会員増加の推進	①保健師職能集会や交流会の開催 ②リーフレット、会員勧誘チラシ改訂版の活用 ③ホームページ、会報による情報発信
(2)助産師職能委員会	①助産師職能委員会 7回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 1回 ④地区別助産師職能委員長会 1回
ア 周産期医療の現状と課題の把握	①職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 ②中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 ③保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出
イ 助産実践能力向上研修	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②助産実践能力向上研修(中堅助産師研修)の企画・運営・評価 ③CLoCMiPレベルⅢ認証研修の導入・活用推進

事業項目	主な事業内容
ウ 母子のための地域包括病棟の推進と助産師出向システムの活用	①ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進
エ 災害時の対応	①周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてタイムリーな情報提供・情報交換
オ 広報活動	①イベントでの助産師の普及活動 ・看護の日・国際助産師の日 ・いいお産の日 ②ホームページ等へ記事投稿
カ 3職能4委員会との連携強化	①母子のための地域包括ケアシステムの構築に向けてのネットワークの構築 ②地域における看護力強化に向けた連携推進のための検討会への参加 ③女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握
(3)看護師職能委員会 I	①看護師職能委員会 I 9回 ②支部看護師職能委員 I との合同会議(10月・3月) 2回 ③看護師職能委員会 II との合同会議(随時) ④全国職能委員長会(看護師職能 I・II) 1回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 看護実践能力の向上	①看護職の生涯学習ガイドラインの周知・徹底
イ 地域包括ケアシステムの推進に向け地域との連携と継続看護の推進	①在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み ②看護師職能委員会 II との連携強化 合同会議の開催による情報交換、情報共有
ウ 支部看護師職能 I 委員との連携強化	①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能 I 委員長会の課題について意見集約
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(I・II合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
オ 日本看護協会との連携	①全国看護師職能 I 委員長会議 1回 ②地区別看護師職能 I 委員長会議 1回
(4)看護師職能委員会 II	①看護師職能委員会 II 9回 ②支部看護師職能委員 II との合同会議(10月・3月) 2回 ③看護師職能委員会 I との合同会議(随時) ④全国職能委員長会(看護師職能 I・II) 1回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	①介護福祉施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催 県内15施設で開催(8月～11月)
イ 介護・福祉関係施設・在宅	①看護師職能 II 交流会開催(1回)

事業項目	主な事業内容
等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	②全国職能委員長会議(年2回) ③地区別看護師職能Ⅱ委員長会議(年1回) ④看護師職能Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する現状調査と課題抽出 介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホームを対象にアンケート調査
ウ 3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化	①3職能4委員会及び在宅ケア推進委員会との合同会議 ②看護師職能委員会Ⅰとの合同会議 ③支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議(年2回)
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
(5)職能集会	①保健師職能集会 1回 ②助産師職能集会 1回 ③看護師職能集会 1回
(6)看護制度委員会	①看護制度委員会 7回
ア 准看護師の資質向上とキャリア形成の推進	①准看護師のスキルアップに繋がるような研修会の企画・運営 ②看護師養成課程への進学や利用できる制度に関する情報提供
イ 看護基礎教育を考える会の開催	①カリキュラム改正後の看護基礎教育について、現状理解を深めるための研修会の開催
ウ 看護専門領域の資格者の地域貢献活動連携強化	①認定看護師等活躍推進事業検討会と連携し、看護専門領域の資格取得者が活動するうえでの課題を共有する
エ 日本看護協会との連携	①全国准看護師担当役員会議 1回
オ 広報活動	①会報「きらめき」、HPへの活用、広報・活動報告
(7)助産師出向支援導入事業(山口県委託)	①助産師出向支援の実施 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催 2回 ③助産師出向に関する調査の実施 ④助産師出向支援導入事業研修会の開催 ⑤助産師出向支援導入事業報告会の開催
(8)認定看護師等活躍推進事業(山口県委託)	①実態把握 ・地域ごとの認定看護師、専門看護師、特定行為研修修了者等の活動実態把握 ②交流会の開催 ③認定看護師等の登録 ④マッチング

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容
<p>1) 新訪問看護提供体制推進事業 (山口県委託)</p> <p>(1) 施策推進体制の確立</p> <p>(2) 専門職による相談対応</p> <p>(3) 訪問看護師育成支援(人材の育成)</p> <p>ア 訪問看護活動の充実、推進</p> <p>イ 訪問看護師の看護実践能力の向上</p> <p>ウ 看護職間の相互理解、連携強化の取り組み</p> <p>(4) 人材の確保</p> <p>(5) 山口県訪問看護実態調査</p>	<p>① 訪問看護総合支援センターの開設に向けた検討委員会を設置し、検討会議を開催</p> <p>① 訪問看護事業所開設者や管理者等を対象とした相談窓口を設置 ・事業所の開設、運営等に係る相談対応 ・人材確保、人材育成に係る相談対応</p> <p>① 訪問看護推進協議会 1回 ② 訪問看護師育成支援事業検討会 3回</p> <p>① 訪問看護研修ステップ1(新カリキュラムによる訪問看護初任者研修) 5月～12月の間 180時間 30日程度(見学実習3日程度を含む) ② 中堅者から管理者対象研修(訪問看護師スキルアップ研修)の企画・実施 ③ 訪問看護基礎研修、訪問看護入門研修等、訪問看護の未経験者、初任者に対するの事業、研修等の企画・実施・評価</p> <p>① 訪問看護研修ステップ1の公開講座および訪問看護の情報提供 ② 訪問看護実践研修への参画、提言</p> <p>① ナースセンターと連携した人材確保の促進 ・潜在看護師、プラチナナース等の就業促進 ・若手看護師確保に向けた取組の実施 ・離職防止対策の検討</p> <p>① 訪問看護に関するアンケート調査による、山口県訪問看護の実態把握と課題の抽出</p>
<p>2) 地域連携における看護の機能強化事業</p> <p>(1) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (山口県委託事業 訪問看護師実践研修を含む)</p> <p>(2) 在宅ケアの推進</p> <p>ア 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み</p>	<p>支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護事業所管理者、地域包括支援センター保健師、行政保健師、居宅介護支援事業所等の相談関係機関担当者等による検討会を設置</p> <p>① 検討会の開催 2回 ② 研修会・交流会等の開催 1回</p> <p>① 在宅ケア推進委員会 7回 訪問看護師育成支援事業検討会との合同開催1回程度を含む</p> <p>① 現状調査結果をふまえた、取り組みの方向性を明確にするための検討 ・職能委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業等と連携した現状調査の作成、実施</p>

事業項目	主な事業内容
<p>イ 在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進</p> <p>(3)日本看護協会及び関係団体との連携</p> <p>3)在宅感染管理研修事業(山口県委託)</p> <p>4)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状調査結果の集計、職能委員会等との情報交換をふまえた山口県の現状分析により、具体的な課題の抽出、検討 ②職能委員会、常任委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業との情報提供、意見交換を目的とした会議の開催 3回程度 ①訪問看護育成支援事業検討会との情報共有、会議の開催 1回 ②山口県訪問看護推進協議会へ、委員およびオブザーバーとしての出席 1回 ③情報提供、意見交換を目的とした三職能四委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会の委員長との会議の開催 2回程度 ①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力 ③訪問看護連絡協議会全国会議への参加 2回 ①訪問看護師等在宅療養を支援する看護職に向けた研修の実施 ②在宅療養者等向け感染管理啓発リーフレットの作成 ①経営目標に基づく安定した事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催 2回 ②質の高い訪問看護サービスの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・BCP訓練・研修 年1回(感染・災害) ・ハラスメント委員会・研修 年1回 ・高齢者虐待防止委員会・研修 年1回 ・感染症予防(標準予防策の徹底) ・訪問看護サミット2024への参加 ・訪問看護集中セミナーへの参加 ・日本看護学会在宅看護への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催 10回 ③訪問看護に関わる関連団体との協力 <ul style="list-style-type: none"> ・看護学生などの実習受け入れ ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町村・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 ④広報活動

事業項目	主な事業内容
<p>5)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」活動の実施</p> <p>(2)「国際助産師の日」活動支援</p> <p>(3)がん総合相談窓口の設置 (山口県委託)</p> <p>6)災害時の看護支援活動に関する事業 (1)災害支援活動体制の整備、充実</p> <p>(2)災害支援ナースの養成および資質向上のための支援</p> <p>(3)平常時の防災活動の推進</p> <p>(4)日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働</p> <p>(5)委員会</p> <p>7)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日・看護週間行事開催</p>	<p>・本協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布</p> <p>①各支部の「まちの保健室」担当者会議の開催 1回 ②普及啓発グッズの配布 ③関係機関との連携推進 ④「まちの保健室」企業と連携 ⑤健康フェアへの出展</p> <p>①各支部助産師職能活動支援(リーフレット作成、物品整備)</p> <p>①相談窓口の設置 月曜日～金曜日 ②看護職による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援 ③がん相談支援スキルアップ研修会参加 ④相談窓口の積極的な利用促進に向けての広報活動</p> <p>①新災害支援ナースの体制の整備・充実 医療法・感染症法改正後の災害支援要綱、受援要項、災害派遣手順の改定 ②災害支援活動物品確認、整備 ③災害支援ナース指導者の育成</p> <p>①災害支援ナース養成研修会開催 1回 e-ラーニング(オンデマンド研修)20時間+集合研修2日間 ②災害支援ナースフォローアップ研修 1回 ③災害支援ナースの登録・変更(県・日本看護協会) ④災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動</p> <p>①山口県総合防災訓練等への参加 ②災害支援物品の整備</p> <p>①都道府県看護協会健康危機管理担当者会議参加 ②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携</p> <p>①災害支援委員会 10回</p> <p>①2024年度「看護の日・看護週間」イベント開催 ②日本看護協会「看護の日PRバス」の山口県内巡回(R6.5.14) ③10支部・会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事開催 ④「ふれあい看護体験」の行事を学生等を対象として会員施設で開催 ⑤「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布やポスターの掲示</p>

事業項目	主な事業内容
(2)看護のPR	①やまぐち未来のしごとフェスタ出展 ②みらいWalker★UBE出展 ③職場体験 ④進路相談

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1)日本看護協会との連携強化事業 (1)諸会議への出席	<p>※法人事業</p> <p>①通常総会 R6.6.6 ②理事会 6回程度 ③法人委員会 5回程度 ④代議員研修会 ⑤都道府県看護協会政策責任者会議 R6.9.19 ⑥会員情報管理情報交換会 R6.7.4 ⑦都道府県看護協会広報担当役員会議 R6.11.7</p> <p>※公益事業</p> <p>⑧全国職能別交流集会 R6.6.7 ⑨全国職能委員長会 R6.8.2、R7.3.7 ⑩地区別職能委員長会 R6.10.18 ⑪訪問看護連絡協議会合同会議 R6.11.22 ⑫ナースセンター事業担当者会議 R6.5.22 ⑬全国看護基礎教育担当役員会議 R7.1中旬～2中旬 ⑭都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 R6.12.19 ⑮都道府県看護協会看護労働担当者会議 R6.7中旬 ⑯医療事故調査に制度に関する情報交換会 R6.9中旬 ⑰都道府県看護協会教育担当役員会議 R6.8.8 ⑱都道府県看護協会図書室担当者研修会 R6.9.12</p>
(2)日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	協力の詳細については各事業計画を参照

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)研修会館の貸与事業 (1)公益目的使用への施設の貸与	①本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し会議室等を低廉な料金で賃貸

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1) 会員への福利厚生等に関する事業 (1) 福利・厚生事業	① 名誉会員制の継続 ② 各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③ 山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施 ④ 傷病見舞、罹災見舞、休業見舞、死亡弔慰金等の支給 ⑤ 会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥ レジャー施設入場支援 ⑦ レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益/収益等/法人)

事業項目	主な事業内容
1) 看護職への支援事業 (1) 相談支援センター活動推進	① 相談支援センターの運営
2) 支部活動事業 (1) 支部活動の推進	① 支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ② 支部運営会議による協議
3) 組織運営に関する事業 (1) 適正な財産運営	① 健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営
(2) 各種事業運営	① 通常総会(※法人) R6.6.15 ② 理事会(※法人) 7回程度 常務理事会(※法人) 5回程度 監査会(※法人) 2回程度 ③ その他事業(各種会議)(※法人) ・ 支部運営会議 3回程度 ・ 推薦委員会(※法人) 5回程度 ・ 県・支部推薦委員合同会議(※法人) 1回程度 ・ 選挙管理委員会 1回程度 ・ 他、各種会議(※法人)
(3) 看護政策推進のための組織強化事業	① 地域の政策力強化(※法人) ・ 認定看護管理者会への参加 ・ 看護職員就業施設訪問 ・ 看護管理者会議によるネットワーク強化 ② 看護協会入会促進 ・ 入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 看護学校・訪問看護ステーション・福祉介護施設等 ・ 看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等

令和6年度 支部事業計画

岩国支部事業計画

活動目標	全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携
支部集会	日時：R6.7.13(土) 会場：岩国市医療センター医師会病院 東館4階講堂
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)教育委員会研修 1回 (2)職能委員会研修 1回 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 開催担当 周南支部 日時：R7.2.1(土)
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 (2)各施設で日時を設定し実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催 6回(地域行事への参加含む) (2)国際助産師の日事業 1回 (3)進路相談 各施設で実施 在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会 3回 研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)看護職交流会 1回 2)表彰者推薦事業 表彰者へのお祝い
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(支部長他) (2)看護学校入学・卒業式祝電 2)支部集会 1回 3)支部役員会 6回 4)支部委員会 (1)職能委員会 6回 (2)教育委員会 2回 (3)推薦委員会 2回 (4)選挙管理委員会 1回 開催 5)広報活動 (1)県協会「きらめき」への投稿 (2)県協会ホームページへの投稿
支部会員数(R6.3.31)	505人(保健師62人 助産師13人 看護師413人 准看護師17人)

柳井支部事業計画

活動目標	1 地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2 支部活動を通して、親睦、情報交換の場とする。
支部集会	日時：R6.7.6(土) 予定 会場：周東総合病院 講堂
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 R7.2.1(土)13時～17時 ①3支部合同研修 周南支部主催に協力運営 場所：スターピア下松
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 ①各施設で日程設定し実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室 開催 R6.9.7 平生健康作りの集いに参加予定 (2)国際助産師の日事業 イベント 1回予定 (3)進路相談 各施設で実施 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1)検討会 2回予定 (2)研修会は訪問看護見学実習を実施予定
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 ①県協会への協力 2)その他の事業 ①支部集会前研修：R6.7.6(土)
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 ①地域会議への出席 地域包括支援センター主催協議会及び地域密着型 サービス運営委員会等に参加 ②看護学校3校 入学式・卒業式祝電 2)支部役員会 5回 開催予定 3)支部委員会 ①職能委員会 6回 開催予定 ②教育委員会 6回 開催予定 ③推薦委員会 6回 開催予定 ④選挙管理委員会 6回 開催予定 4)広報活動 ①県協会広報「きらめき」への投稿 ②県協会ホームページへの投稿
支部会員数(R6.3.31)	533人(保健師38人 助産師15人 看護師451人 准看護師29人)

周南支部事業計画

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化と看護力の向上 2) 会員相互の親睦を図り、多職種との連携を深める
支部集会	日時：R6.7.6(土) 会場：徳山医師会病院 研修室(予定)
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 ① 教育委員会研修 1回 ② 職能委員会研修 1回 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 開催担当：周南支部 日時：R7.2.1(土)
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり ① 県協会労働環境支援委員会の研修参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 各施設で日時を決定して実施、ポスター掲示及びグッズの配布 2) 健康相談・啓蒙活動の事業 (1) まちの保健室 3回予定 (2) 国際助産師の日事業 ① イベント「いいお産の日」 1回 (3) 進路相談 ① 各施設で実施 (4) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ① 検討会 3回 ② 研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 会員への福祉厚生等に関する事業 (1) 表彰候補の推薦 (2) 山口県優良看護職員知事表彰の推薦 2) その他事業 (1) 看護管理者交流会(管理者) 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1) 支部集会 1回 2) 支部役員会 3回 3) 支部委員会 職能委員会 6回 教育委員会 6回 推薦委員会 1回 選挙管理委員会 1回 4) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」へ投稿 (2) 県協会ホームページへ投稿 5) 地域会議への出席 (1) あ・うんネット周南ワーキング会議 5回 研修会 2回
支部会員数(R6.3.31)	1,850人(保健師54人 助産師65人 看護師1,685人 准看護師46人)

防府支部事業計画

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職の相互理解の推進・連携の強化 2)地域における健康増進活動の推進
支部集会	日時：R6.7.13(土) 会場：山口県看護研修会館 本館大研修室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)教育委員会・職能委員会 支部研修 2回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	2)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ (2)看護職の人材確保・就業支援 ①病院紹介や進路・就業相談 ②看護学校と情報交換を行い市内への就業促進を行う
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 1回 ①イオン防府店内での看護の日PR及び健康相談を実施 リーフレットやグッズ 等設置 ②各施設で実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室 ①イオン店内 4回 ②イベント 1回 (2)国際助産師の日事業 ①国際助産師の日イベント 1回 (3)保健師交流 ①研修会 1回 ②保健師情報交流会 1回 (4)その他の事業 ①地域行事での救護協力 3)在宅療養支援のための看護職連携推進の強化事業 ①検討会 3回 ②研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員の福利厚生に関する事業 (1)表彰候補者の推薦 ①県協会へ協力 (2)その他の事業 ①親睦会 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会 7回 開催 2)支部委員会 (1)職能委員会 3回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 2回 (4)選挙管理委員会 1回 3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿 (2)協会ホームページへの投稿
支部会員数(R6.3.31)	792人(保健師40人 助産師48人 看護師700人 准看護師4人)

山口支部事業計画

活動目標	1)在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携を図る 2)看護職の確保と定着を図る
支部集会	日時：R6.7.20(土) 場所：山口県健康づくりセンター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員会 ①教育委員会企画研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会主催事業への協力 (2)看護職の人材確保・就業支援 ・アピール動画作成(中高生対象)・ポスター作製 ・山口県看護協会ホームページへアップロードする
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び看護週間行事開催 各施設で実施 2)「まちの保健室」開催 2回 3)「国際看護の日」事業「いいお産の日」イベント 1回 4)進路相談実施 各施設・まちの保健室 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会 3回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)講演会(支部集会後) 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部組織の強化に関する事業 (1)支部活動の充実 ①地域会議への出席 ②看護学校関連事業参加 2)支部運営に関する事業 (1)支部役員会 5回 (2)支部委員会 ①職能委員会 5回 ②教育委員会 5回 ③推薦委員会 4回 ④地域連携推進委員会 5回 ⑤選挙管理委員会 1回 3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿
支部役員数(R6.3.31)	1,382人(保健師95人 助産師37人 看護師1,217人 准看護師33人)

宇部支部事業計画

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の連携と強化
支部集会	日時：R6.7.20(土) 会場：山口大学医学部 医修館1階第1講義室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修 「災害に向けて備えておくこと(仮)」
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)健康ブースでのパンフレット配布 (2)まちの保健室 2回 ～健康イベントに参加～ 3)在宅療養支援のための看護職連携推進強化(小野田支部と合同) (1)検討会開催 (2)研修会開催
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)リフレッシュを目的とした研修会(3職能合同研修) R6.7.20「ストレッチでリフレッシュ(仮)」
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部役員会 6回 2)支部委員会 (1)職能委員会 5回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 2回 3)その他 (1)看護学校入学、戴帽式、卒業式への参加 (2)地域会議への出席 ①宇部、小野田医療圏地域医療構想調整会議 ②宇部市防災会議 (3)市からの依頼 ①宇部市多職種連携研修会の受講者推薦 ②宇部市障害者自立支援審査会委員の推薦 ③宇部市介護認定調査会委員選任 など (4)広報活動 ①県協会「きらめき」へ投稿 ②ホームページへ投稿
支部会員数(R6.3.31)	2,003人(保健師50人 助産師50人 看護師1,808人 准看護師95人)

小野田支部事業計画

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
支部集会	日時：R6.7.20(土)10：00～12：00 会場：小野田赤十字病院 大会議室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」行事開催 各施設で実施 2)「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事開催 (検討中) 3)「まちの保健室」開催 おのだサンパーク 1回開催 4)山陽小野田市主催「SOS健康フェスタ」 展示ブース・参加 5)看護体験実施：各施設で実施 6)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1)検討会開催 3回 (2)研修会開催 1回 オンラインで役割の共有を検討中(宇部支部と合同)
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)支部会員交流会の開催
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会 5回 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 4回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回 3)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 4)広報活動 (1)県協会会報「きらめき」への投稿
支部会員数(R6.3.31)	585人(保健師33人 助産師24人 看護師518人 准看護師10人)

長門支部事業計画

活動目標	地域包括ケア推進のための看護職の連携を強化する 地域住民の健康増進活動を推進する
支部集会	日時：R6.7.18(木) 予定 会場：長門市地域医療連携支援センター 2階研修室 予定
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 (2)WEB研修 2回 2)学会等学術振興に関する事業 (1)支部看護研究指導 (2)看護研究発表会
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 研修会 1回 2)看護管理者会議 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議 1回
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」、看護の日・看護週間で施設毎に実施 2)まちの保健室 3)国際助産師の日事業：「助産師まつり」 4)進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会2回、研修会2回の実施
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)地域の看護職員交流会
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(支部長他) (2)看護学校入学式・戴帽式・卒業式臨席 2)支部集会 3)支部役員会： 2回開催 4)支部委員会 (1)職能委員会 (2)教育委員会 (3)推薦委員会 (4)選挙管理委員会 5)広報活動 (1)県協会「きらめき」の投稿 (2)支部広報誌「ふれあい」の作成 年1回発行
支部会員数(R6.3.31)	236人(保健師15人 助産師13人 看護師188人 准看護師20人)

萩支部事業計画

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職の連携強化と看護力の向上 2)地域活動を通して地域住民に対し看護協会の普及啓発を図り、あわせて健康向上に努める
支部集会	日時：R6.7 予定 会場：萩市地域医療支援センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部研修会 1回 (2)三職能合同研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)健康に関する事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 (1)各施設で日程設定し実施 2)まちの保健室開催 10回 3)国際助産師の日事業 萩ふるさとまつりのまちの保健室と同時開催 4)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 (1)検討会 2回 (2)研修会 1回 5)進路相談 (1)各施設での実施 (2)まちの保健室での実施 (3)中学生への職業講話(依頼があれば実施) 6)その他の事業 (1)地域行事での救護等
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)その他の事業 (1)交流・親睦会 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部役員会 8回 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦員会 3回 (4)選挙管理委員会 2回 3)広報活動 (1)県協会会報「きらめき」への投稿
支部会員数(R6.3.31)	386人(保健師26人 助産師4人 看護師272人 准看護師84人)

下関支部事業計画

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
支部集会	日時：R6.7.19(金)18：30～ 会場：脳神経筋センターよしみず病院 多目的ホール ばるて
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修会(教育委員会主催) 会員・非会員対象 2回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 (1)看護の日記念イベント時に、学生や未就業者に対し進路・就業相談を行う (2)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (3)市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2)「看護の日」「国際助産師の日」記念事業 合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催：(下関地区・豊浦地区)年10回 (2)地域行事での救護協力(海峡マラソン) 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会 3回 研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福利厚生(職能委員会主催) (1)研修会開催 2回 (2)会員交流会 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)支部役員会 7回 (2)支部委員会 ①職能委員会4回 ②教育委員会4回 ③まちの保健室委員会2回、 ④推薦委員会2回、⑤選挙管理委員会1回 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席(医療対策協議会、医療・介護ネットワーク、防災 他) (2)広報活動 ①県協会報「きらめき」への投稿 ②県協会ホームページへの投稿 (3)訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職、特に未加入 施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける
支部会員数(R6.3.31)	1,698人(保健師47人 助産師49人 看護師1,567人 准看護師35人)

令和6年度 職能委員会活動計画

1 保健師職能委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 保健師の連携強化及びネットワーク推進 2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3) 会員増加の推進
2 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 1) 職能委員会8回 2) 支部保健師職能委員との合同会議2回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 保健師の連携強化及びネットワーク推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保健師職能集会の開催(6月) (2) 保健師職能交流会の開催(3月) (3) 支部委員との連携強化(9月、3月) 合同会議を開催し、情報交換 (4) 会報「きらめき」やホームページによる情報発信 会報「きらめき」ひたむきな保健師掲載(年3回) 2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 研修会の実施 (2) 教育研修計画への参画 3) 会員増加の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保健師職能集会や交流会の開催 (2) リーフレット・会員勧誘チラシ改訂版の活用 (3) 会報やホームページによる情報発信

2 助産師職能委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 周産期医療の現状と課題の把握 2) 助産実践能力の向上 3) 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用 4) 災害時の対応 5) 広報活動 6) 3職能、4委員会との連携強化
2 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 1) 職能委員会 7回 2) 支部職能委員との合同会議 2回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 周産期医療の現状と課題の把握 職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出 2) 助産実践能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> (1) 新人助産師研修の企画・運営・評価 (2) 中堅助産師研修の企画・運営・評価 (3) CLoCMiP[®]の導入・活用の推進 3) 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用 ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進

	<p>4)災害時の対応 周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてのタイムリーな情報提供、情報交換</p> <p>5)広報活動 (1)イベント等での助産師の普及活動 ①看護の日・国際助産師の日 ②いいお産の日 (2)ホームページ等へ記事投稿</p> <p>6)3職能、4委員会との連携強化 (1)母子のための地域包括ケアシステムの構築に向けての、ネットワークの構築 (2)地域における看護力強化にむけた連携推進のための検討会への参加 (3)女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握</p>
--	---

3 看護師職能委員会 I

1 活動目標	<p>1)看護実践能力の向上 2)地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進 3)支部看護師職能 I 委員との連携強化 4)広報活動・会員増加の推進 5)日本看護協会との連携</p>
2 委員会開催	<p>1)職能委員会9回 2)支部看護師職能 I 委員との合同会議2回(10月、3月) 3)看護師職能委員会 I・II 合同会議(随時)</p>
3 活動内容	<p>1)看護実践能力の向上 (1)看護職の生涯学習ガイドラインの周知・徹底 2)地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進 (1)在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 ・それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み ・地域への継続できる看護への取り組み (2)看護師職能委員会 II との連携強化 ・合同会議を随時行い、情報交換、情報共有 3)支部看護師職能 I 委員との連携強化 (1)支部及び看護師職能 I 委員との合同会議2回(10月、3月) ①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能 I 委員長会の課題について意見集約 4)広報活動・会員増加の推進 (1)看護師職能集会(I・II 合同)1回/年 (開催予定日未定) (2)会報「きらめき」、ホームページによる情報発信 5)日本看護協会との連携 (1)全国看護師職能 I 委員長会議出席 1回 (2)地区別看護師職能 I 委員長会議出席 1回</p>

4 看護師職能委員会Ⅱ

1 活動目標	1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3)3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化 4)広報活動・会員増加の推進
2 委員会開催	1)職能委員会9回 2)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議(年2回 10月・3月) 3)看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議(随時)
3 活動内容	1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 ・介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)開催 (令和6年度、県内15施設の開催予定8月～11月) 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 (1)看護師職能Ⅱ交流会の開催(年1回) (2)全国職能委員長会議(年2回) (3)地区別看護師職能Ⅱ委員長会議(年1回) (4)看護師職能Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する現状調査と課題抽出 ・介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホームを対象にアンケート調査 予定 3)3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化 (1)3職能4委員会および在宅ケア推進委員会との合同会議 (2)看護師職能委員会Ⅰとの合同会議(随時) (3)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議(年2回 10月・3月) 4)広報活動・会員増加の推進 (1)看護師職能集会の開催(年1回) (2)会報「きらめき」、ホームページによる情報発信

令和6年度 常任委員会活動計画

1 労働環境支援委員会

1 活動目標	<p>1)働き続けられる職場づくりを推進する。</p> <p>2)看護職の確保・定着等について検討する。</p>
2 委員会開催	4回(5~6回)
3 活動内容	<p>1)研修会の開催</p> <p>(1)目的：ハラスメントを生まない職場づくりを目指して (ハラスメントのない理想の職場を目指す) 専門職として働き続けるために、ハラスメントのない職場環境づくりについて職場の一員として考える 「働き続けられるチーム作り(体制)を考えよう」</p> <p>(2)ねらい：看護はチームで継続性、連続的に提供するために、お互いが協働する必要がある。そのためには、職場内のコミュニケーションによる相互理解やチームビルディングでサポートし合う組織体制の整備や、職場風土・文化の醸成が求められる。そこで、コミュニケーションを円滑にとれ、多様な価値観を認め合うことで、ハラスメントを生まない職場環境づくりをめざし、働き続けることができるチーム体制を考え実践に結びつける。</p> <p>(3)対象：5年以上の看護師 実習指導者・プリセプター等の役割を担うリーダー的看護職</p> <p>(4)内容：講義：(0.5日)およびGW(0.5日) 1日間 講義(案)：アサーションスキルのDESC法を使って自分の思いを伝える アンガーマネジメントを学び職場における心理的安全性を高める チームビルディングなど 講師：未定 演習(案)：「成長して欲しい」「安全な看護を提供したい」の思いを効果的に伝えるコミュニケーション (認定看護管理者：ファシリテーター)</p> <p>(5)時期：未定</p> <p>1)医療勤務環境改善センターとの連携強化・活用促進のための検討 (1)課題の明確化について</p> <p>2)セカンドキャリア世代括約推進事業への検討 (1)現状調査について (2)「セカンドキャリア人材バンク」の充実について (3)セカンドキャリア支援研修会、交流会等について (4)就業相談会、職場体験会等について</p>

2 看護制度委員会

1 活動目標	<p>1) 准看護師が継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるよう支援をする。</p> <p>2) 看護基礎教育についての現状理解を深める。</p> <p>3) 看護専門領域の資格取得者の地域貢献活動について連携強化を図る。</p>
2 委員会開催	7回
3 活動内容	<p>1) 准看護師スキルアップ研修・情報提供・交流会の開催 准看護師がスキルアップに繋げていけるような研修会等を企画運営する。</p> <p>2) 看護基礎教育を考える会の開催 カリキュラム改正後の看護基礎教育について、現状理解を深めるための研修会等を開催する。</p> <p>3) 看護専門領域の資格取得者の地域貢献活動連携強化 認定看護師等活躍推進事業検討会と連携し、看護専門領域の資格取得者が活動する上での課題を共有する。</p>

3 教育委員会

1 活動目標	<p>1) 令和6年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。</p> <p>2) 会員のニーズおよび令和6年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上に繋がる令和7年度教育研修を企画・立案する。</p> <p>3) 教育研修立案に際して、常任委員会および職能委員会、支部と連携し、各委員・支部からの要望を反映した研修計画を立案する。</p>																				
2 委員会開催	10回																				
3 活動内容	<p>1) 教育研修会の広報と実施</p> <p>(1) 看護実践能力養研修会 30コマ(31日)</p> <table border="0"> <tr> <td>①新人研修</td> <td>2回</td> <td>⑥看護実践力(JNAラダー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②看護研究</td> <td>2回</td> <td>ア ニーズをとらえる力</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>③看護管理</td> <td>4回</td> <td>イ ケアする力</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>④自己教育関連</td> <td>3回</td> <td>ウ 協働する力</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>⑤リクエスト枠</td> <td>1回</td> <td>エ 意思決定を支える力</td> <td>2回</td> </tr> </table> <p>2) 研修の評価と次年度研修計画立案</p> <p>(1) 令和6年度の教育研修の運営・評価</p> <p>(2) 令和7年度の教育研修計画の企画・立案</p> <p>3) 関係する委員会との連携 常任委員会及び職能委員会、支部へ次年度の研修内容に関する要望を、書面にて問い合わせ、結果を考慮し立案する。</p>	①新人研修	2回	⑥看護実践力(JNAラダー)		②看護研究	2回	ア ニーズをとらえる力	4回	③看護管理	4回	イ ケアする力	7回	④自己教育関連	3回	ウ 協働する力	5回	⑤リクエスト枠	1回	エ 意思決定を支える力	2回
①新人研修	2回	⑥看護実践力(JNAラダー)																			
②看護研究	2回	ア ニーズをとらえる力	4回																		
③看護管理	4回	イ ケアする力	7回																		
④自己教育関連	3回	ウ 協働する力	5回																		
⑤リクエスト枠	1回	エ 意思決定を支える力	2回																		

4 学会委員会

1 活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興とそれに連動した看護の質向上を図る。
2 委員会開催	6回程度
3 活動内容	1) 第24回山口県看護研究学会の開催 2) 第24回山口県看護研究学会に関する冊子の発行 3) 山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討

5 認定看護管理者教育運営委員会

1 活動目標	1) カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2) 認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1) 令和6年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R6.4.19～R6.9.7 32日間 2) 令和6年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 募集期間：R6.4.18～R6.5.16 募集定員：70人 3) 令和6年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R6.10.24～R6.12.21 20日間 4) 令和5年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 研修日：R6.7.4 5) 令和6年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 研修日：R7.3月初旬 6) ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル各研修課程の教育運営と受講者施設との連携に関する検討 7) 令和7年度より開始となる新カリキュラム基準についての情報共有・カリキュラム作成

6 広報委員会

1 活動目標	1) 会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会、施設などの取り組みを情報発信し、魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を検討し紙面の充実をはかる。 2) 看護協会の認知度を高めるためホームページの充実と、協会員の増員に繋がる広報活動を推進する。 3) 日本看護協会や、各施設の新たな取り組み等に対し、時宜を得た広報活動を行う。
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1) 「きらめき」発行を年3回行う。 (1) 発行時期：6月、10月、1月(会報号159号、160号、161号) (2) 実施内容 掲載内容の企画・紙面形式の検討、原稿依頼、原稿の編集・校正、紙面構成の検討、

	<p>印刷会社との打ち合わせ等</p> <p>2) ホームページの充実 ブログの更新、SNS活用のための協議</p> <p>3) 各施設の新たな取り組み等の情報収集と発信</p>
--	---

7 推薦委員会

1 活動目標	<p>1) 役員(外部監事を除く。)の改選に係る候補者の推薦</p> <p>2) 職能委員会委員、常任委員会委員の改選に係る候補者の推薦</p> <p>3) 日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦</p>
2 委員会開催	3回程度
3 活動内容	<p>1) 第1回推薦委員会</p> <p>(1) 推薦委員会の任務について</p> <p>(2) 委員長選出</p> <p>(3) 年間活動スケジュール</p> <p>(4) 各委員会の活動内容</p> <p>2) 第2回推薦委員会</p> <p>(1) 令和7年度役員選挙等日程について</p> <p>(2) 役員等の立候補、選挙権及び兼職について</p> <p>(3) 推薦委員の改選について</p> <p>(4) 職能委員及び常任委員の選任について</p> <p>3) 第3回推薦委員会</p> <p>役員等候補者名簿について</p>

8 医療安全推進委員会

1 活動目標	<p>1) 医療安全管理者の資質向上の推進</p> <p>2) 医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援</p> <p>3) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進</p>
2 委員会開催	<p>6回程度</p> <p>(うち1回は圏域代表を招集して開催する)</p>
3 活動内容	<p>1) 医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価(年1回)</p> <p>2) 山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価</p> <p>医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援</p> <p>(1) 圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 圏域代表合同会議(年1回)</p> <p>(2) 現任の医療安全管理者を対象としたネットワーク構築を目的とした企画 情報交換会(年2回)</p> <p>3) 県協会広報誌「きらめき」による医療安全情報の発信(年3回)</p> <p>4) 「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及活動</p>

9 災害支援委員会

1 活動目標	<p>1)災害支援活動新体制の確立、整備</p> <p>2)山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援</p> <p>3)一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力の向上</p>
2 委員会開催	10回
3 活動内容	<p>1)委員会活動内容</p> <p>(1)新災害支援ナース養成研修の企画・運営内容の継続検討と評価 特に感染編について</p> <p>(2)災害支援ナースステップアップ研修について企画・実施・評価</p> <p>(3)山口県総合防災訓練における展示・広報の内容等の検討と準備</p> <p>2)研修開催内容</p> <p>(1)新災害支援ナース養成研修 集合研修 2日間(災害・感染)</p> <p>(2)災害支援ナースステップアップ研修</p> <p>(3)意見交換会(災害派遣があった場合)</p> <p>3)その他</p> <p>(1)山口県総合防災訓練参加</p> <p>(2)関係機関、団体との協働、協力</p> <p>(3)災害支援ナース派遣要綱・実践マニュアル等の改訂</p>

10 在宅ケア推進委員会

1 活動目標	<p>1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み</p> <p>2)在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進</p>
2 委員会開催	5回
3 活動内容	<p>1)在宅ケアにおける看護の機能強化に繋げるための取り組み</p> <p>(1)情報提供の在り方に関する検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動や各支部長や各職能からの聞き取りから、「情報提供の在り方」が課題であがってきた。情報提供書の様式が各々で相違があるが、様式が違って情報提供先に有効な情報が伝えられる「書き方ガイド」を作成すると良いのではないかと、という意見があがり、作成に取り組むこととした。 ・令和6年度は、作成のための情報収集や聞き取りなどを行い、準備をしていきたい。

報告事項3 令和6年度 収支予算書

(別 冊)